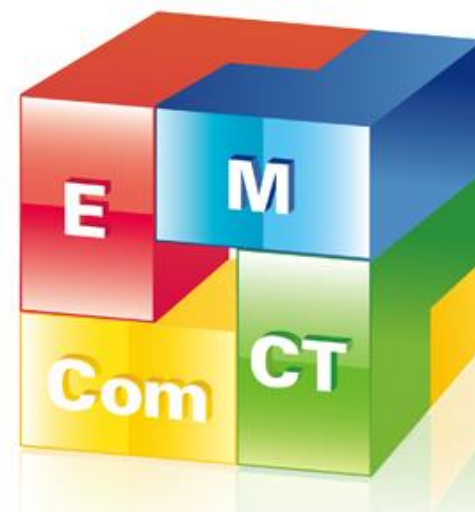


『世界に飛躍、New Origin !』

～そして技術再生と構造改革、100年企業を目指して～

2016年3月期
第2四半期連結決算説明資料



2015年11月26日
オリジン電気株式会社

目次

2016年3月期 第2四半期連結決算説明

◇第2Q連結累計期間決算の概要	P 3	◇第2Q連結累計期間キャッシュ・フローの状況	P10
◇第2Q連結累計期間経営成績	P 4	◇配当の状況	P 11
◇セグメント別第2Q連結累計期間売上高	P 5	◇16/3期連結業績予想	P 12
◇製品別第2Q連結累計期間売上高比率	P 6	◇連結経営成績の推移	P 13
◇海外顧客向け第2Q連結累計期間売上高	P 7	◇研究開発本部	P 15～ P 18
◇セグメント別第2Q連結累計期間営業利益	P 8	◇エレクトロニクス事業部門	P 19～ P 30
◇第2Q連結会計期間末財政の状態	P 9	◇メカトロニクス事業部門	P 31～ P 44
		◇ケミトロニクス事業部門	P 45～ P 55
		◇コンポーネント事業部門	P 57～ P 69

第2四半期連結累計期間 決算の概要



◆POINT◆

◇上期概要

売上高 : 16,564百万円 (前年同四半期比 $\Delta 9.4\%$) 営業利益 : 1,016百万円 (前年同四半期比 $\Delta 36.7\%$)
経常利益 : 1,149百万円 (前年同四半期比 $\Delta 36.3\%$) 親会社株主に帰属する四半期純利益 : 715百万円 (前年同四半期比 $\Delta 33.5\%$)
※%表示は対前年同四半期比増減率。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、景気は穏やかな回復基調が続いております。一方、海外経済は、先進国を中心とした穏やかな成長が続いていますが、中国経済の減速が鮮明となり、先行き不透明な状況で推移しております。このような中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、主としてコンポーネント事業の精密機構部品が前年同四半期比で増収となりましたが、メカトロニクス事業が前年同四半期比で大幅な減収となり、売上高は165億6千4百万円(前年同四半期比9.4%減)となりました。利益面におきましては、営業利益10億1千6百万円(前年同四半期比36.7%減)、経常利益11億4千9百万円(前年同四半期比36.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億1千5百万円(前年同四半期比33.5%減)となりました。

◇下期重点施策

1. 業容拡大に向けた事業活動の強化
2. 新製品のタイムリーな市場投入
3. 自前主義からの脱却、共創とシナジー効果、コラボレーションの発揮
4. 具体的なグローバル活動(国内再整備を含む)の推進
5. 本社移転と構造改革の推進

◇16/3期連結業績予想

売上高 : 34,000百万円 (前期比 $\Delta 7.2\%$) 営業利益 : 1,800百万円 (前期比 $\Delta 38.8\%$)
経常利益 : 1,800百万円 (前期比 $\Delta 48.6\%$) 親会社株主に帰属する当期純利益 : 1,200百万円 (前期比 $\Delta 58.2\%$)
※%表示は対前期増減率。

第2四半期連結累計期間 経営成績



(単位:百万円)

	16/3期 上期	15/3期 上期	主な要因					
売上高	16,564	18,276	エレクトロ 4,201 前年同四半期比 2.4%減	メカトロ 1,627 57.2%減	ケミトロ 5,487 4.0%増	コンポーネント 5,248 7.3%増		
営業利益	1,016	1,605	セグメント利益 エレクトロ 410	メカトロ 171	ケミトロ 560	コンポーネント 667	調整額 ▲793	合計 1,016
経常利益	1,149	1,804	コンポーネント事業の売上は好調だったものの、メカトロニクス事業の主力製品の売上の減少に伴い、営業利益は前年同四半期に比べ588百万円減少しました。					
親会社株主に帰属する四半期純利益	715	1,076	営業外収益に受取利息47百万円、受取配当金47百万円等を計上したことにより経常利益1,149百万円となりました。 ※調整額は各事業に配分していない全社費用であります。					

(単位:円)

1株当たり 四半期純利益	21.46	32.29
-----------------	-------	-------

◆POINT◆

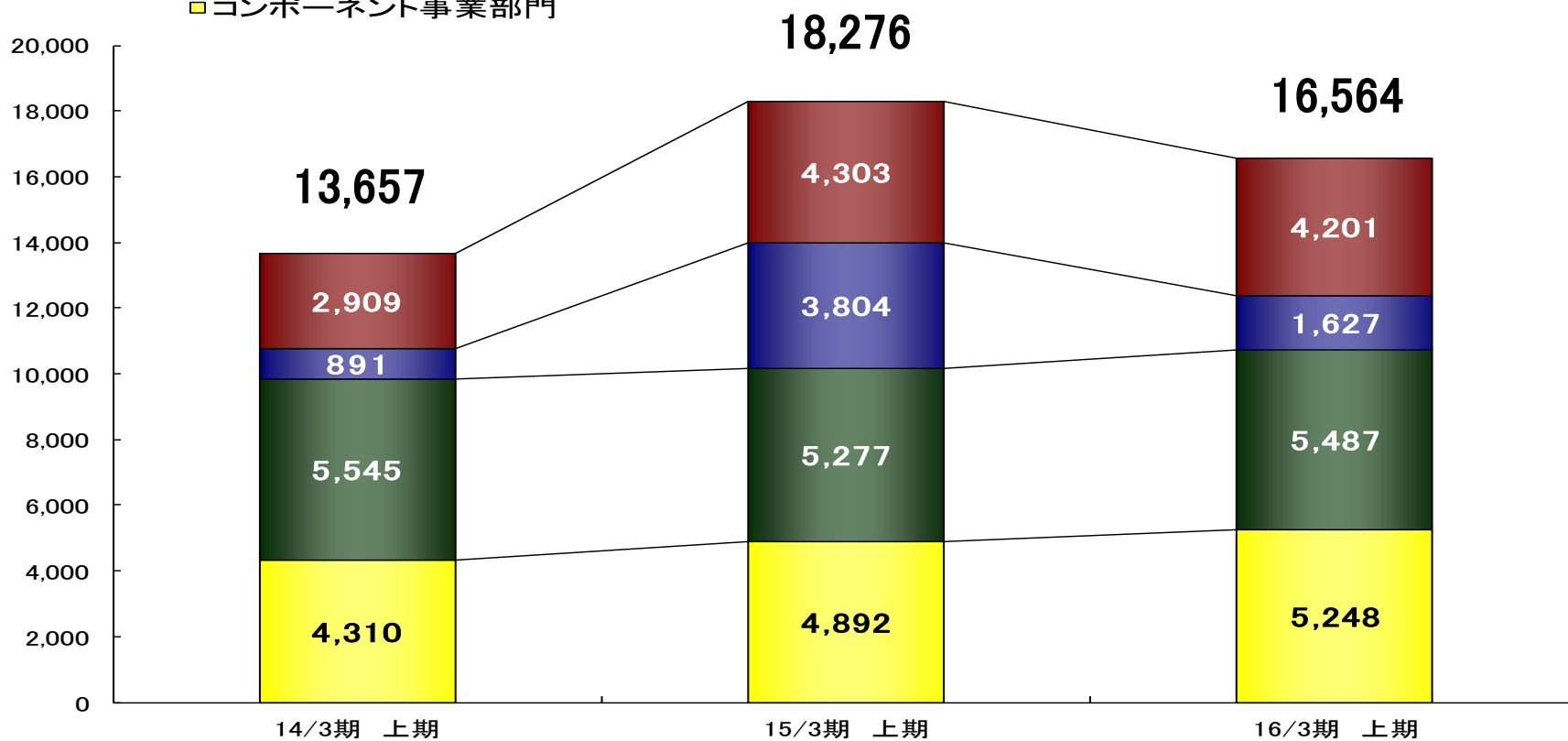
コンポーネント事業の精密機構部品が複写機・プリンタ関連とATMなどの金融機器向け製品が需要増加により順調に推移し前年同四半期で増収となりましたが、メカトロニクス事業が前年同四半期で大幅な減収となり、売上高は165億6千4百万円(前年同四半期比9.4%減)となりました。

セグメント別 第2四半期連結累計期間売上高



- エレクトロニクス事業部門
- メカトロニクス事業部門
- ケミトロニクス事業部門
- コンポーネント事業部門

(単位:百万円)

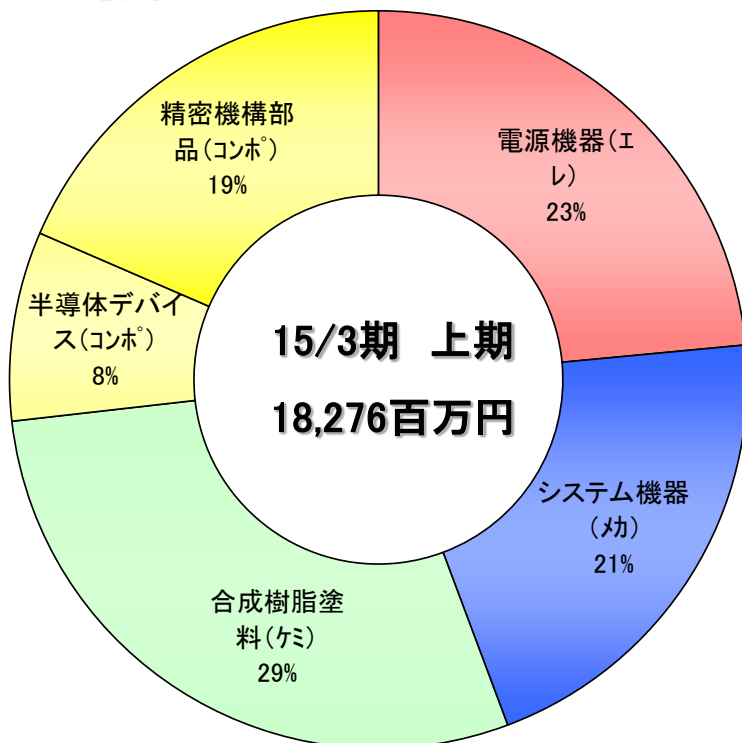


製品別

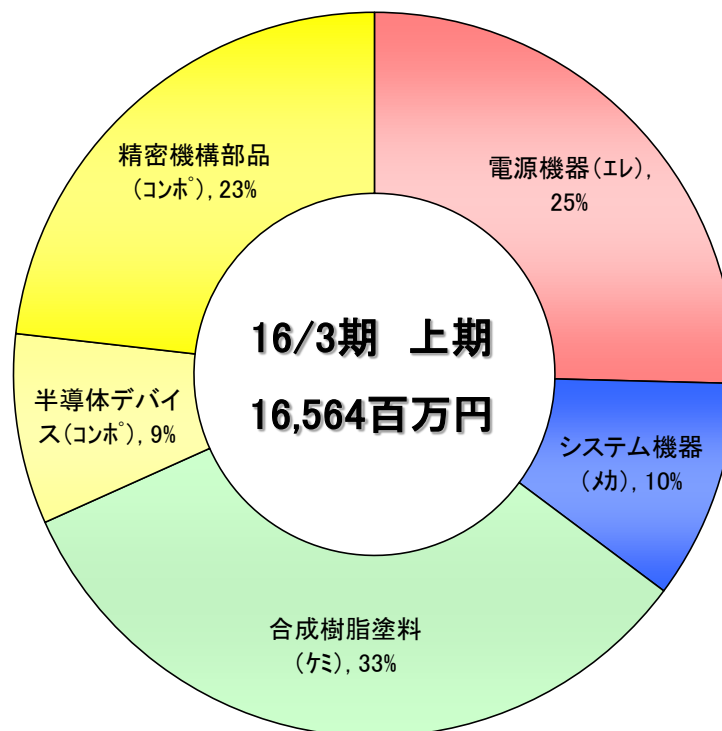
第2四半期連結累計期間売上高比率



コンポーネント事業部門
27%



コンポーネント事業部門
32%



海外顧客向け 第2四半期連結累計期間売上高



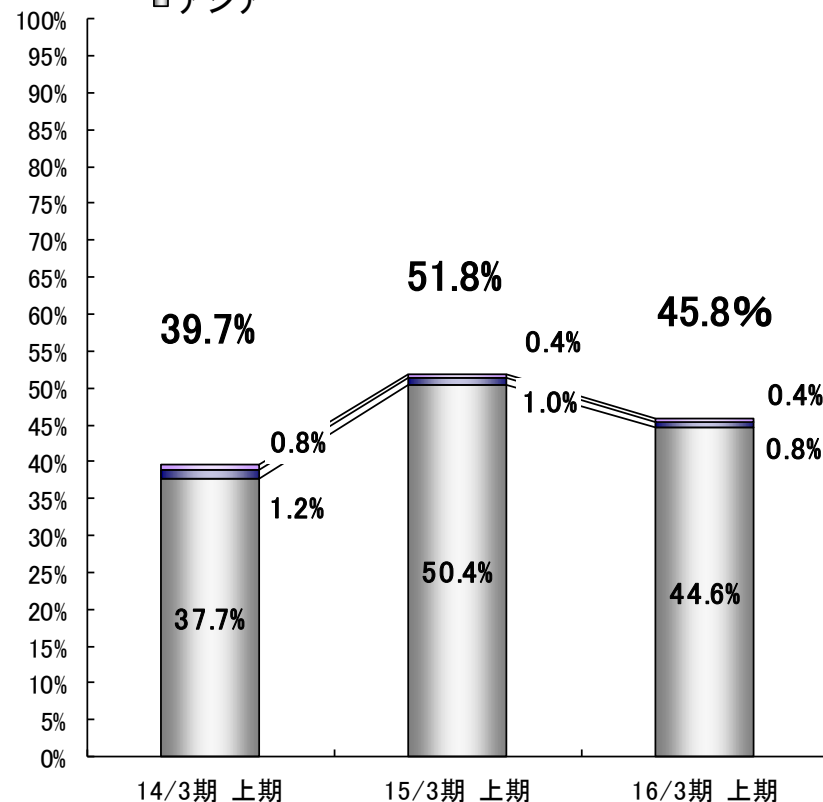
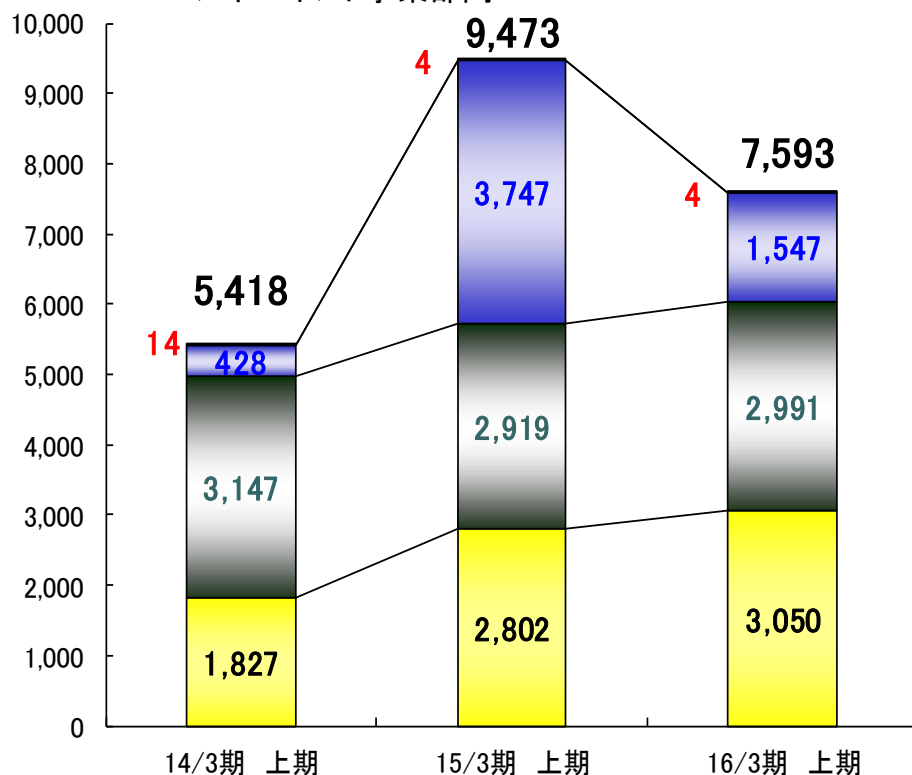
ーセグメント別ー

ー地域別ー

- エレクトロニクス事業部門
- メカトロニクス事業部門
- ケミトロニクス事業部門
- コンポーネント事業部門

- その他地域
- 北米
- アジア

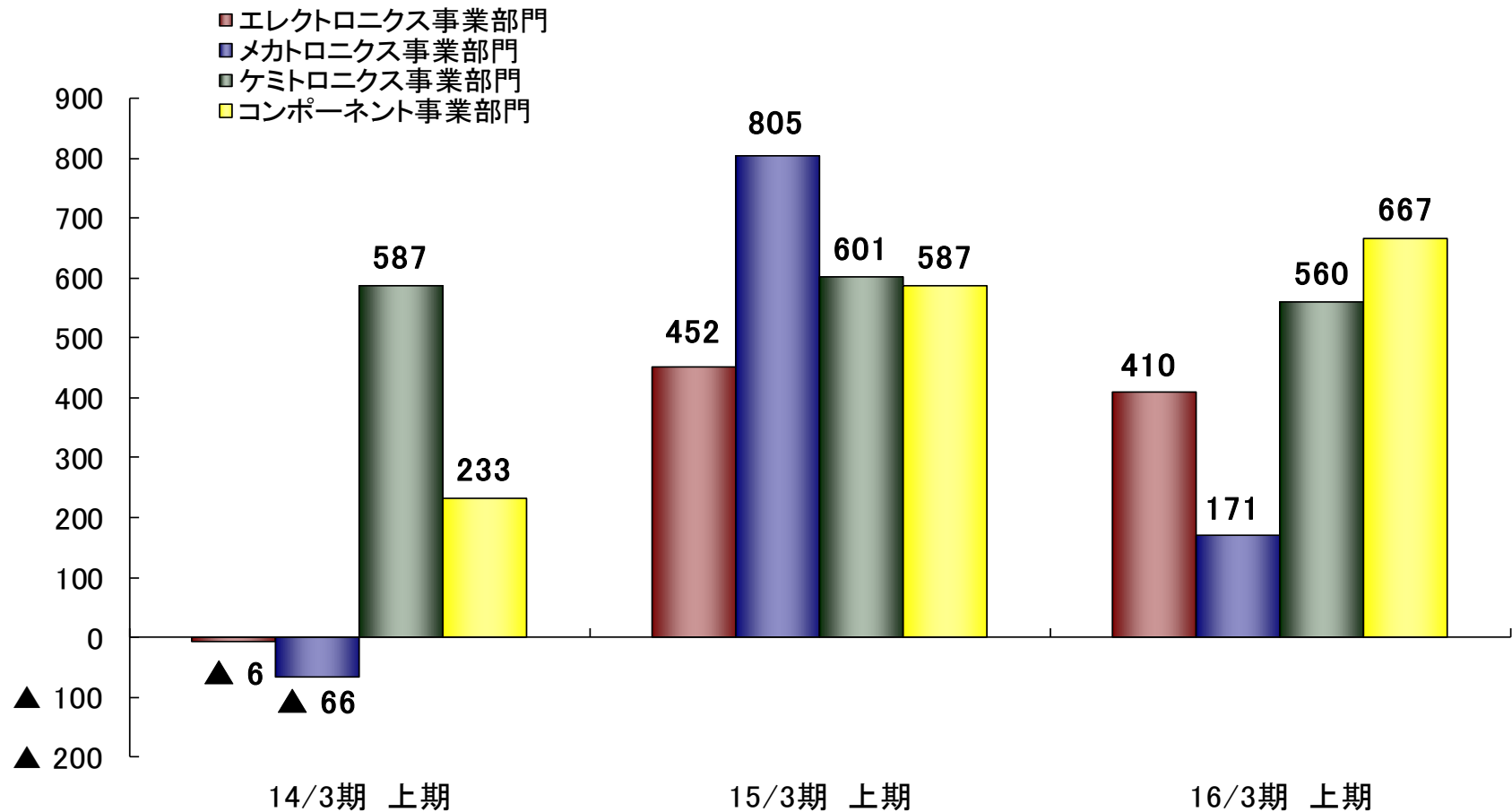
(単位: 百万円)



セグメント別 第2四半期連結累計期間 営業利益（全社費用配分前）



（単位：百万円）



第2四半期連結会計期間末 財政の状態



(単位:百万円)

	15/9/30	15/3/31	主な要因
流動資産	27,239	27,534	前期末比294減少:商品及び製品312増加、現金及び預金611減少、仕掛品335減少
固定資産	16,958	15,093	前期末比1,864増加:建物及び構築物974増加、建設仮勘定792増加
流動負債	12,662	11,050	前期末比1,611増加:未払金1,283増加、短期借入金700増加、支払手形及び買掛金538減少
固定負債	5,486	5,884	前期末比398減少:長期借入金265減少
純資産	26,049	25,693	◆POINT◆ 本社及び本社工場移転による新棟建設に伴い、固定資産が増加いたしました。
総資産	44,198	42,628	

自己資本比率	52.8%	53.7%
--------	-------	-------

第2四半期連結累計期間 キャッシュ・フローの状況



(単位:百万円)

	16/3期 上期	15/3期 上期	主な要因
営業活動によるC/F	454	1,802	増加要因は税金等調整前四半期純利益1,136、減価償却費484 減少要因は仕入債務の減少552、法人税等の支払393
投資活動によるC/F	▲ 1,149	▲ 570	有形固定資産の取得による支出920、子会社株式の取得による支出149
財務活動によるC/F	63	▲ 389	増加要因は短期借入金の純増加700 減少要因は長期借入金の返済265、非支配株主への配当金200、配当金150
現金及び現金同等物の増減額(▲減少)	▲ 556	843	◆ POINT ◆ ・現金及び現金同等物の残高は5,973百万円となり前年同四半期末比552百万円減少しました。 ・前連結会計年度末からは556百万円減少しました。
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,973	6,526	

配当の状況

(単位:円)

	16/3期 (期末と年間は予想)	15/3期
第2四半期末	3.50	3.50
期末	3.50	4.50
年間	7.00	8.00

◆POINT◆

- ・取締役会において、中間配当金3.50円の配当を決議しました。
- ・期末配当金については、予想を変更しておりません。これにより、年間配当金は7.00円を予定しております。

16/3期連結業績予想

(単位: 百万円)

	16/3期			15/3期		通期増減 ①－②
	上期	通期(予想) ①		上期	通期 ②	
売上高	16,564	34,000		18,276	36,625	△ 2,625
営業利益	1,016	1,800		1,605	2,941	△ 1,141
経常利益	1,149	1,800		1,804	3,498	△ 1,698
親会社株主に帰属 する当期純利益	715	1,200		1,076	2,872	△ 1,672

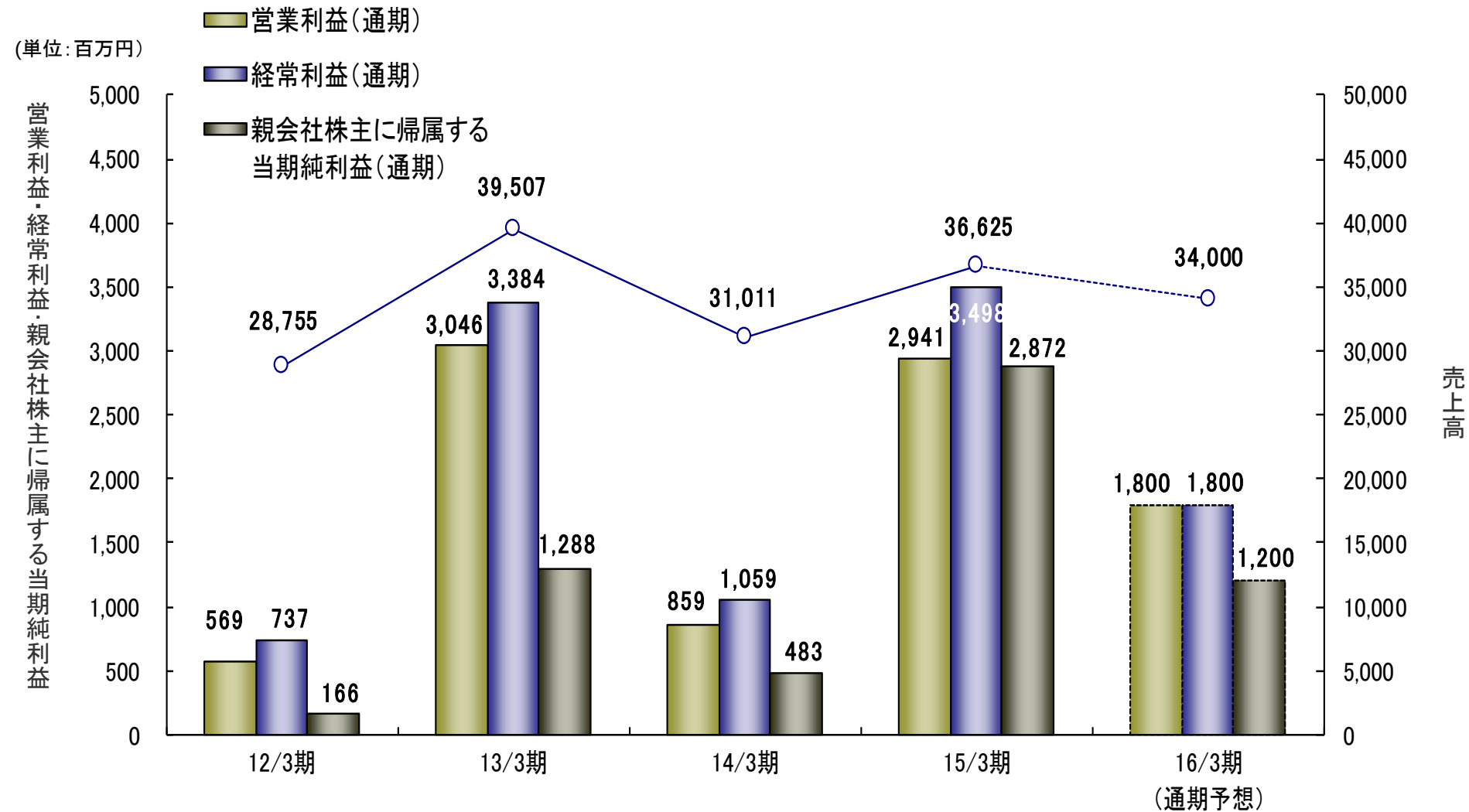
◆POINT◆

- ・16/3期 上期の売上高のセグメント別内訳は、下表のとおりです。
- ・通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月13日の決算発表時の予想に変更はありません。
- ・本社及び本社工場移転に係る費用5億円程度を織り込んで おります。

(単位: 百万円)

売 上 高	16/3期 上期	15/3期 上期	上期増減
エレクトロニクス事業部門	4,201	4,303	-2.4%
メカトロニクス事業部門	1,627	3,804	-57.2%
ケミトロニクス事業部門	5,487	5,277	4.0%
コンポーネント事業部門	5,248	4,892	7.3%
合 計	16,564	18,276	-9.4%

連結経営成績の推移



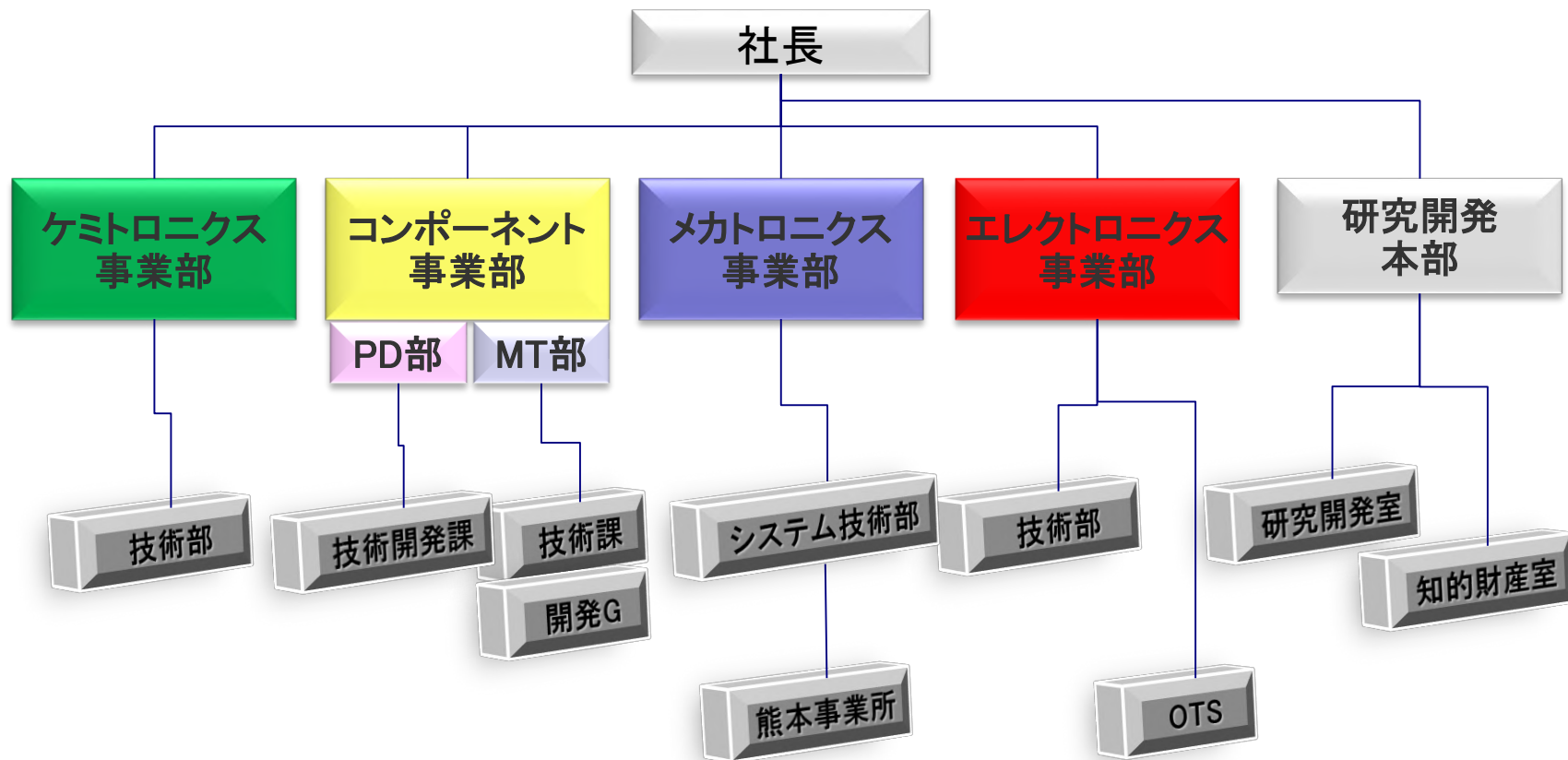
MEMO

オリジン電気の技術製品開発体制

研究開発本部

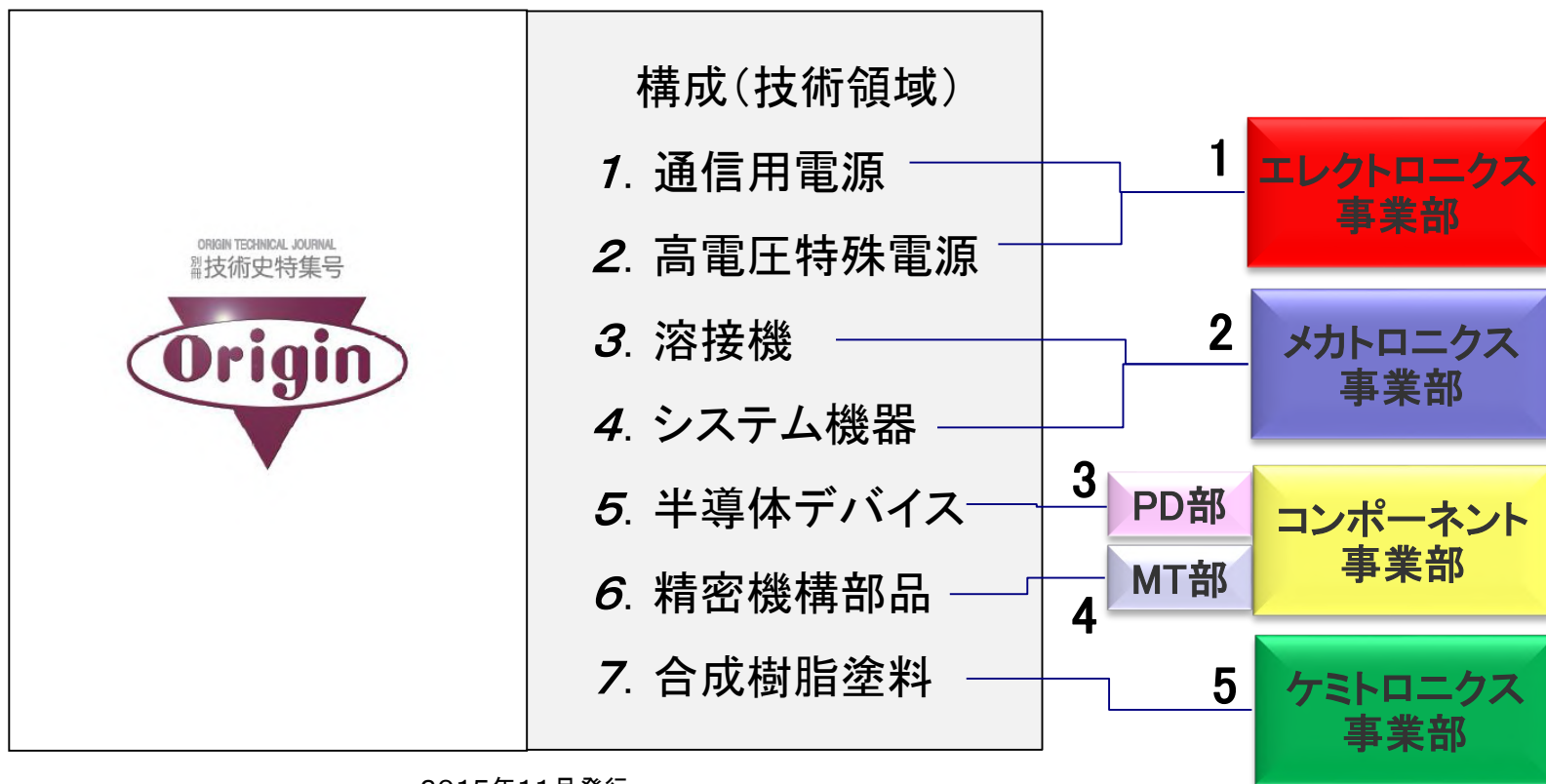
1. オリジン電気の技術開発組織図
2. 技術史と技術領域
3. 技術開発体制の整備

1. オリジン電気の技術開発組織図



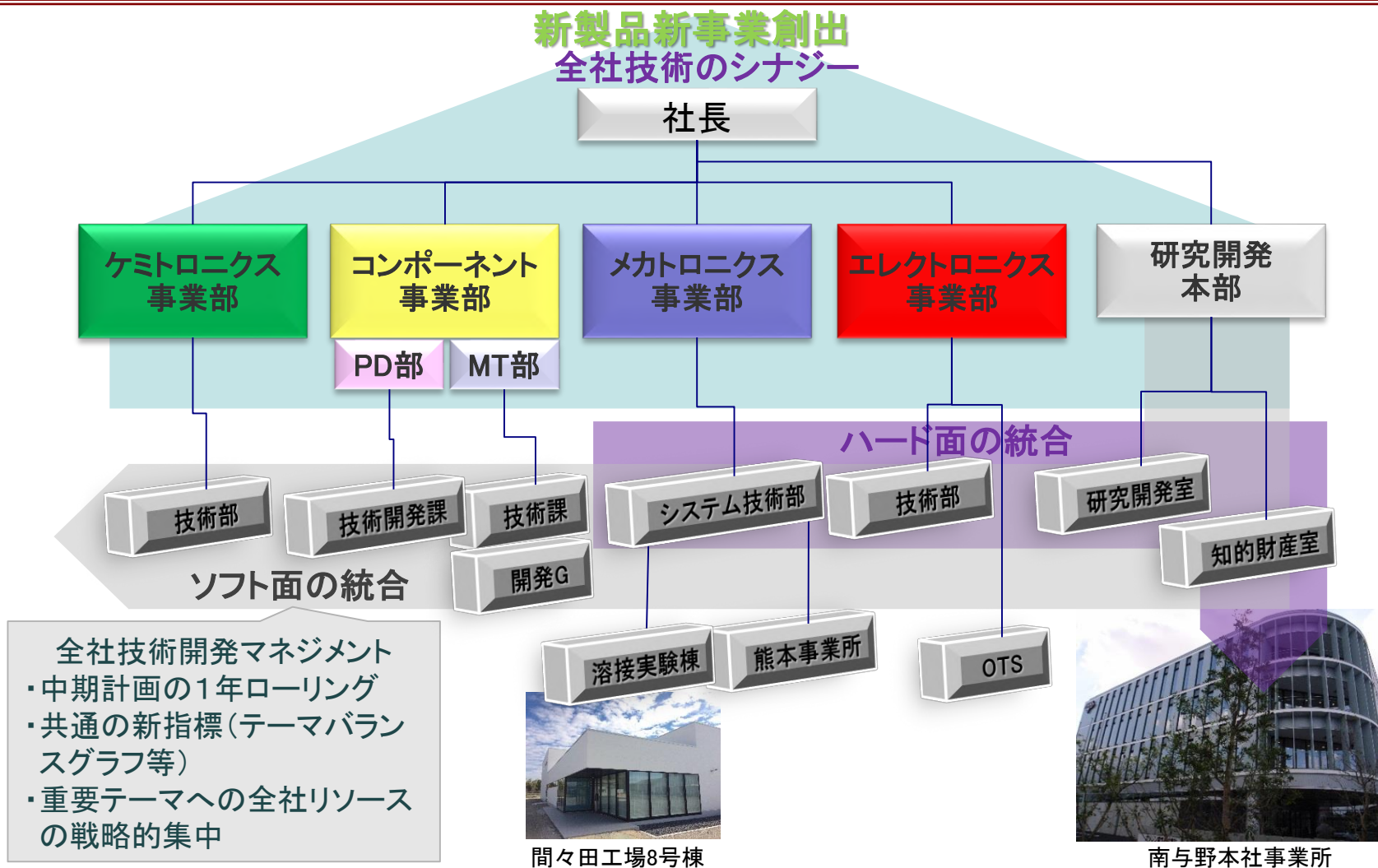
2. 技術史の発行と技術領域

オリジン電気の77年の技術を振り返り、
これからの四半世紀の糧とする。



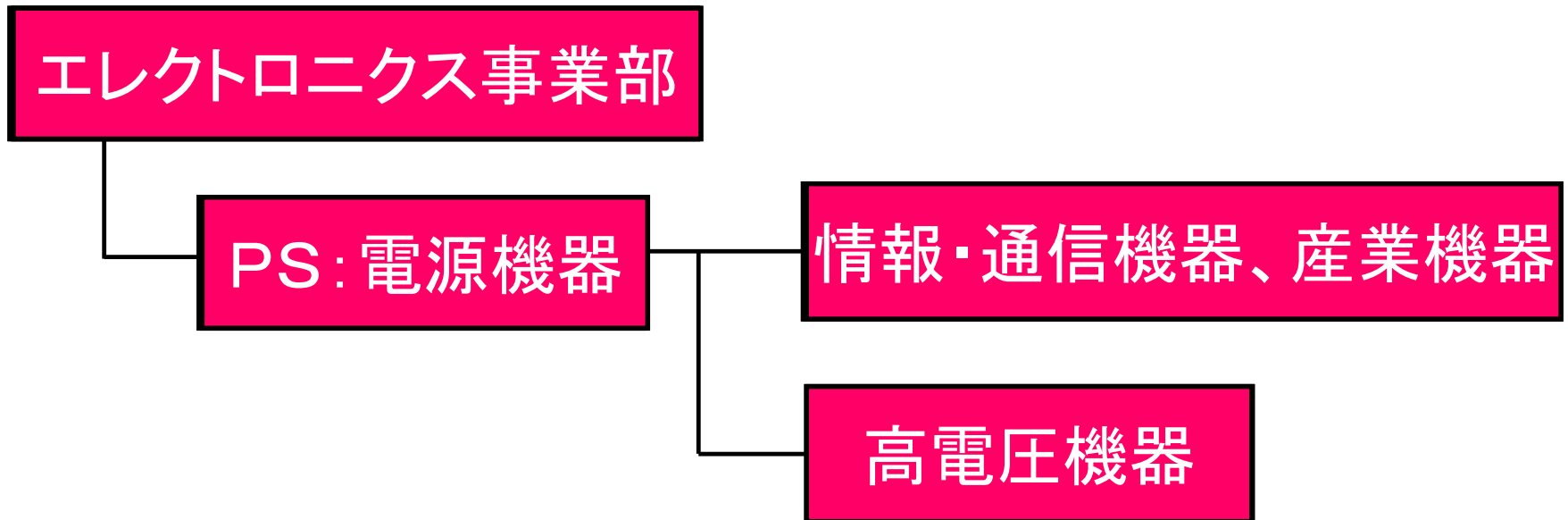
2015年11月発行

3. 技術開発体制の整備



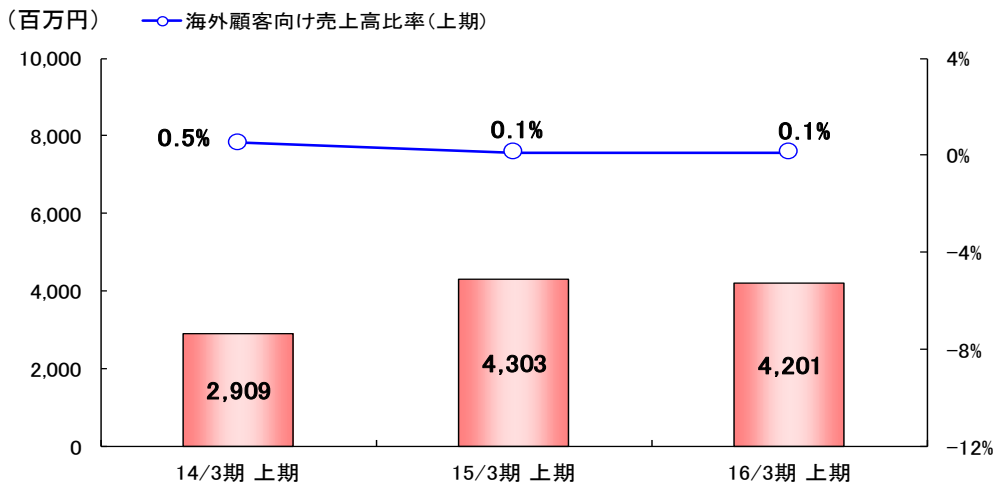
エレクトロニクス事業部門

事業の内訳

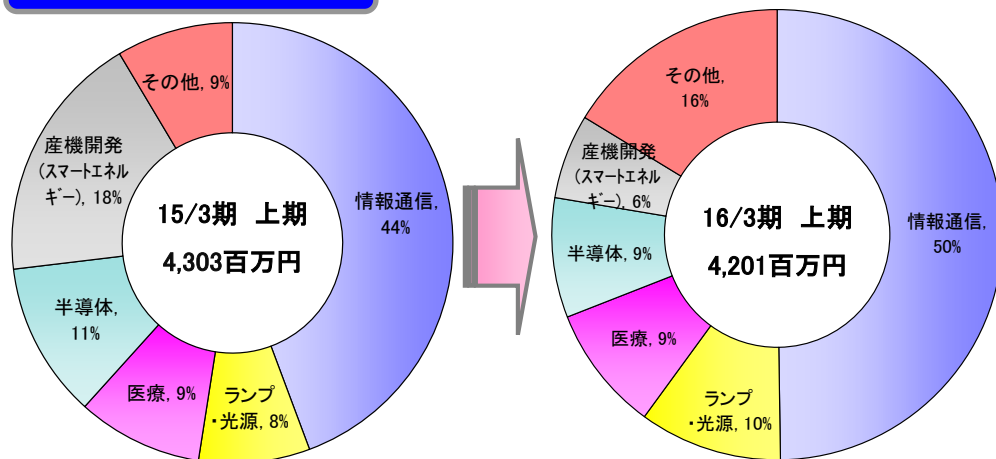


概況

連結売上高



市場別連結売上高比率



◆POINT◆

◇16/3期 上期概要

- ・スマートフォンなどの携帯端末向けのLTE投資活発化に伴い無線基地局用電源の販売は好調に推移する一方、一部の停電対策等の用途において伸び悩みとなりました。半導体製造装置向けの高電圧電源については、設備投資の抑制局面が継続し低迷しました。
- ・その結果、売上高は前年同四半期比2.4%減の42億1百万円(総売上高の25.4%)となりました。

◇16/3期 下期重点施策

- ・下期もLTE等の無線基地局の好調需要が予想されるため、通信用電源の販売に引き続き注力します。
- ・高電圧電源につきましては、半導体製造装置向けの抑制局面の継続が予想される中、近年開発に注力してまいりました。電源周辺の機能も取り入れた医療用X線ジェネレータシステムにてアジア圏を主とした市場での売上拡大に注力します。
- ・成長が期待される再生可能エネルギー市場での拡販活動を積極的に進めます。

トピックス1

移動通信基地局用整流装置

◇整流装置(DC48V45A)：屋外仕様

入力単相AC100V, 出力DC48V45A
屋外仕様の整流装置。

Ni-MH※電池を搭載し、現行機種に
対し小型化(従来体積比約1/3)を
実現。

※Ni-MH: Nickel Metal Hydride



	項目	規格	記事
入力	電圧	AC100V(90~110V)	
	周波数	50/60Hz	
	力率	0.95以上	定格運転時
出力	定格電圧	54.6V	
	電圧変動範囲	53.31~55.14V	電圧降下分加味
	定格電流	45A	
	蓄電池保持時間	約20分	25℃45A出力時
	効率	87%以上	定格運転時
環境	周囲温度	-10~40℃	
	周囲湿度	40~85%	結露なきこと
	EMI	VCCIクラスB準拠	
構造	外形(W×D×H)	462.5×465×780mm	熱交換器含む
	質量(整流装置)	60kg以下	15Aユニット(4台)含む 蓄電池ユニット含まず
	質量(蓄電池ユニット)	20kg以下	

トピックス2

新製品 バックアップ用電源システム

◇バックアップ用電源システム:屋外仕様

停電時の踏切動作をバックアップする為の
屋外仕様の電源装置。

Ni-MH※電池を搭載し、鉛蓄電池を搭載
するシステムに対して小型化を実現。

※Ni-MH: Nickel Metal Hydride

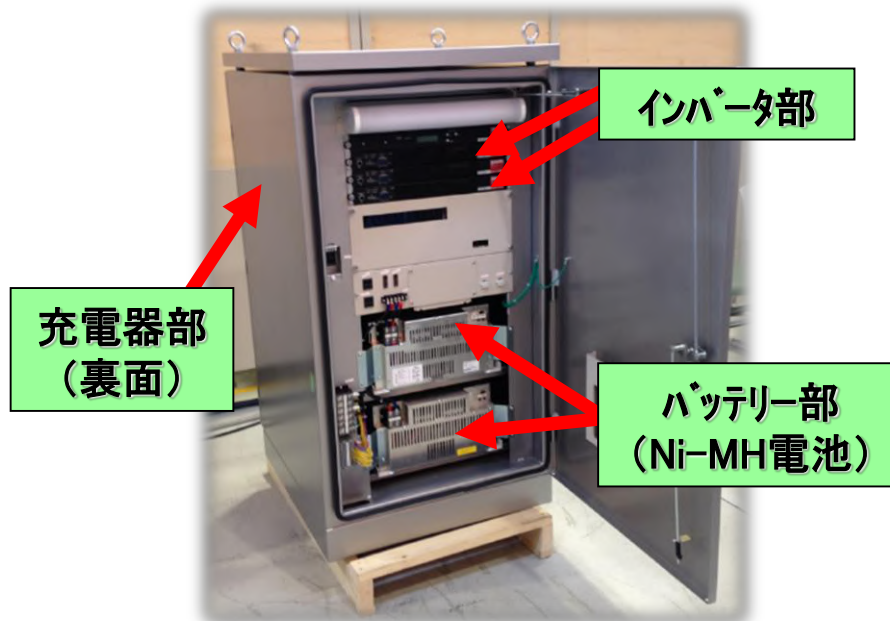
踏切試験風景



【主仕様】

入力: 単相100V 常時商用

出力: 単相100V 停電時バックアップ(1時間)

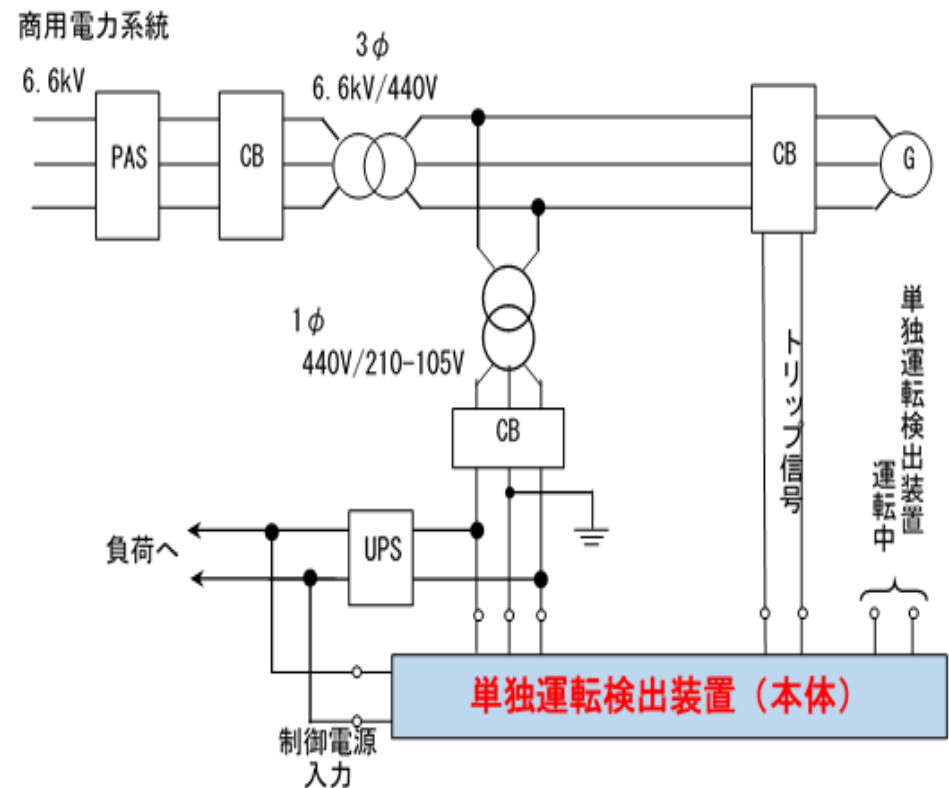


トピックス3

新製品 単独運転防止装置（非連結子会社オーティーエス 販売）

◇単独運転防止装置：屋外仕様

- ・再生可能エネルギーの発電設備のうち高圧連携向け装置。
- ・小水力発電、風力発電、バイオマス発電など回転機系発電設備を用いる分散型電源の停電時における単独運転の防止に利用。



トピックス4

医療用X線ジェネレータ

従来のインバータ、高圧部に加えスタータ等の周辺回路も取込み、付加価値を高めたシステム製品として開発。

今後、国内のみならず、アジア中心に展開予定。
現在、中国メーカーにて評価中。



General Specifications

Generator Type	High Frequency Output
Rotor Supply	Low Speed Starter
Input Phase/ Voltage	1 Φ / 180-220V AC or 3 Φ / 380-440V AC
Tube Operation	1 tube
Automical Programs	225+ techniques
Technique Selection	kV/ AEC, kV/ mAs or kV/ mA/ ms
Auxiliary Room & Collimator Power	Standard feature

Radiography

kV p Range/Steps	40 - 150 kV
kV p Accuracy	Less than $\pm 3\%$
High Voltage Ripple	Less than 10%p-p at 100kV/500mA
Rise Time(10% - 90%)	1msec (10-75%) max <0.5ms, faster rise time available for 50kW,65kW models
mA Range	10 - 630 mA
Exposure Timer Range	0.001s - 10s
mAs Range (non-AEC)	0.1- 630 mAs

Continuous Fluoroscopy

kV p Range/Steps	50 - 125 kV in 1 kV steps
kV p Accuracy	less than $\pm 3\%$ max
High Voltage Ripple	less than 10%p-p at 125kV/4mA
mA Range/Steps	0.1mA- 4mA

トピックス5

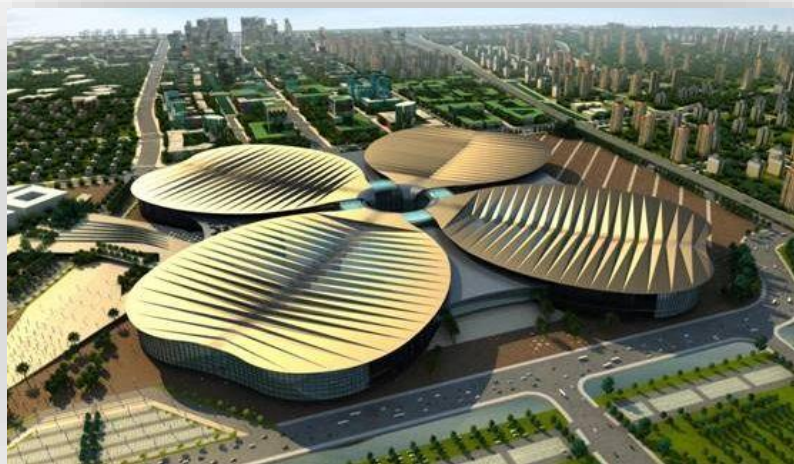
第73回中国医療機器展示会(CMEF) 出展

◇「第73回中国医療機器展示会(CMEF)」へ出展
中国(上海):2015年5月15日～18日

今回で10回目の出展となりますが、医療用X線電源シリーズを出展し製品紹介致しました。

【主な出展製品】

- ・一般撮影用50kWジェネレータシステム
- ・外科用Cアーム 3.5kWモノタンク
- ・歯科用 1kWモノタンク



主要製品紹介：情報・通信機器

通信センター局用整流装置

特 長：

DC48V出力4A～6000A、小容量から大容量までの整流装置をラインナップしています。

大容量の整流装置は、システム構成により高密度実装の50A/100A/150A/200A/250Aの整流器ユニットを搭載しています。

更に予備機のある並列冗長運転方式を採用した、信頼性の高い電源装置です。

高電圧直流給電整流装置（HVDC=High Voltage Direct Current）は、高効率、安全性、デザイン性を重点にし、DC380V出力容量最大105kW供給可能な電源装置です。

使用例：データセンター、通信センター局



移動通信基地局用整流装置

特 長：

DC48V出力6A～600Aの屋外仕様タイプから屋内仕様タイプまでの整流装置をラインナップしています。屋外仕様タイプでは電柱に取付が可能な小型・軽量・無騒音（FANレス）の整流装置もあり、屋内仕様タイプでは高さ1U（44.45mm）の小型・薄型・高密度実装の整流器ユニットを搭載した電源装置もあります。

使用例：携帯電話の無線基地局



主要製品紹介：産業機器

インバータ

特 長： 直流入力を交流正弦波出力に変換する高効率インバータです。
当社の整流器との組合せにより、各種バックアップニーズに対応することが出来ます。
また各種機能・条件などお客様のご要望のカスタマイズも可能です。

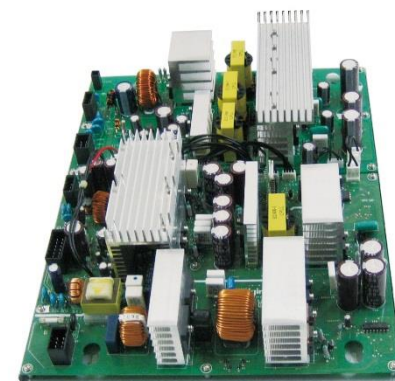
用 途： 各種バックアップ用



パッケージ電源

特 長： 高信頼性で多出力に対応した
エレベータ制御用電源などがございます。
お客様のご要望を最適設計にて実現致します。

用 途： エレベータ用



主要製品紹介: 高電圧機器

電気集塵機用電源

特 長 : 煤塵を静電気により除去するための電源で、1970年より7200台の販売実績がある、業界トップの製品です。

用途 : 環境に配慮した廃棄物処理設備
使用例 : 電力、鉄鋼、セメント、硝子・産業廃棄物等の処理プラント



医療装置用電源

特 長 : X線用高電圧電源で高周波インバータを用い、安定した出力、高信頼性、小型化を実現しています。

用途 : X線発生装置
使用例 : 医療用X線装置



UVランプ用電源

特 長 : 高周波インバータを用い、小型化、高安定出力を実現しています。FPD生産ライン用ではシェアNo.1です。

使用例 : FPDパネル貼り合せ、印刷機



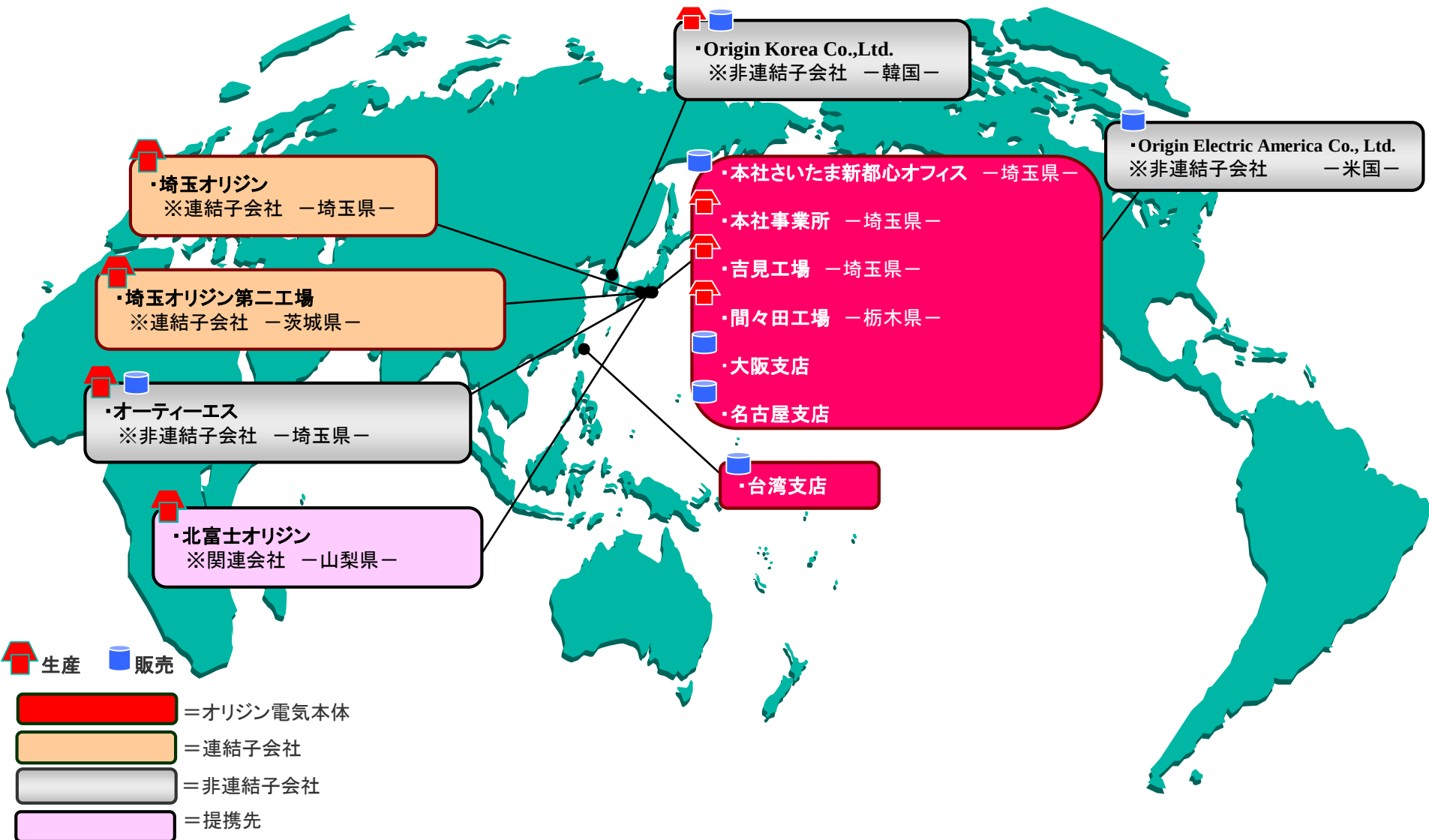
スパッタ用電源

特 長 : 高電圧技術を活かし、半導体製造装置用など様々な製品を供給しています。

使用例 : 半導体プロセスにおける材料成膜、太陽電池パネル、有機EL、液晶、PDPの成膜



生産・販売拠点



メカトロニクス事業部門

事業の内訳

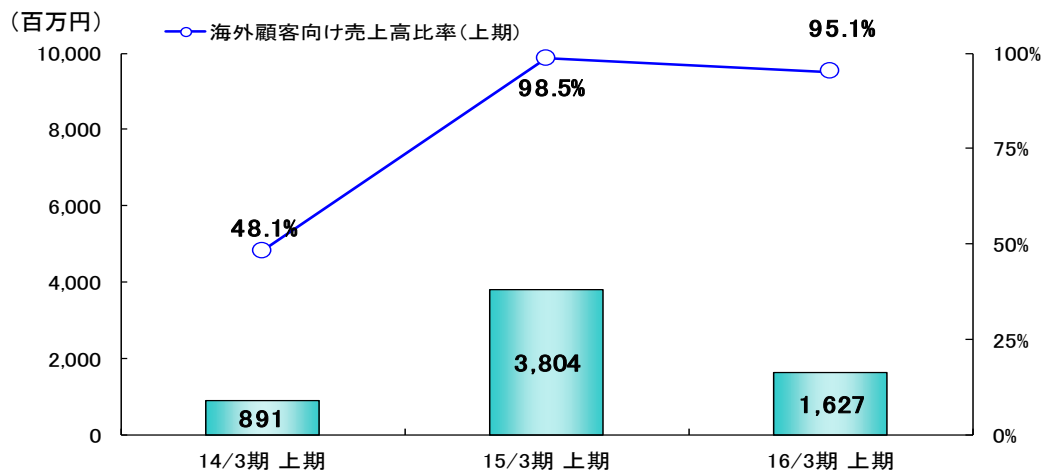
メカトロニクス事業部

SG:システム機器

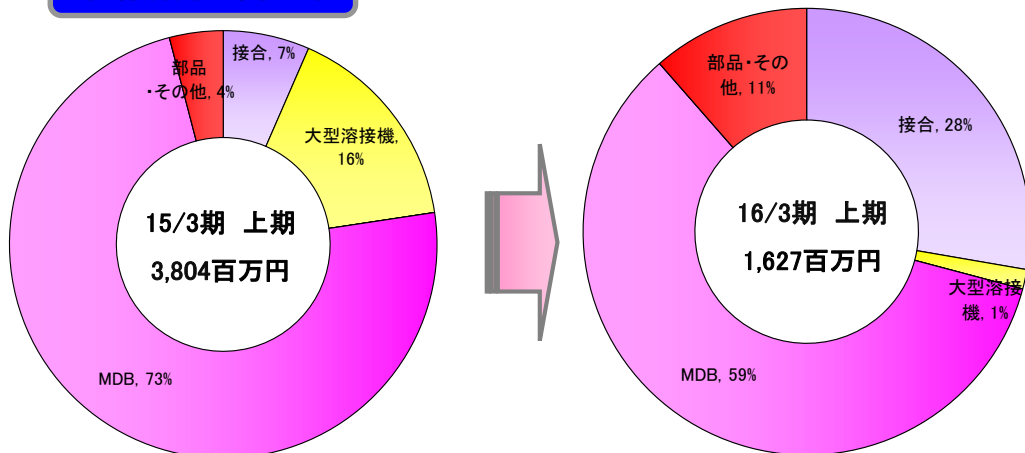
(SG:システムグループ)

概況

売上高



市場別売上高比率



◆POINT◆

◇16/3期 上期概要

・光半導体用小型溶接機は引き続き光通信市場の活況により順調に推移しました。MDBは当期受注案件が順調に立ち上がり売上に寄与しましたが、中国ローカル市場への投入が徐々に進みつつあるものの、売上には至らなかったことから、売上高は前年同四半期比57.2%減の16億2千7百万円(総売上高の9.8%)となりました。

◇16/3期 下期重点施策

1. 小中型パネル用MDBの市場拡大
 - ・中国ローカルメーカーへの拡販
 - ・スリット工法の販売拡大
2. 大型新製品真空ソルダリングシステムの本格販売
 - ・大型機MP2の本格販売
 - ・小型機Miniの上市
3. 自動車部品用大型溶接機拡販と生産体制整備
4. 光半導体用小型溶接機の売上確保
5. 大型新製品(第5の柱以降)の開発推進
6. 中国メンテナンス体制の維持管理

SG製品群(4本の柱)

重点製品とターゲット市場

1. MDB (Mobile Display Bonder)

小中型パネル用

LCシリーズと新工法C2L

→中国ローカル市場



2. 真空ソルダリングシステム

→パワー半導体市場



3. 大型溶接機

→自動車関連市場



4. 光半導体用小型溶接機

→アジア光通信市場



重点製品1-1

MDB



MDBロードマップ



LCシリーズ(DF工法)

小中型パネル用MDB



◇ロット切り替えが容易

◇4～8インチパネルに対応



多品種小中ロットに最適

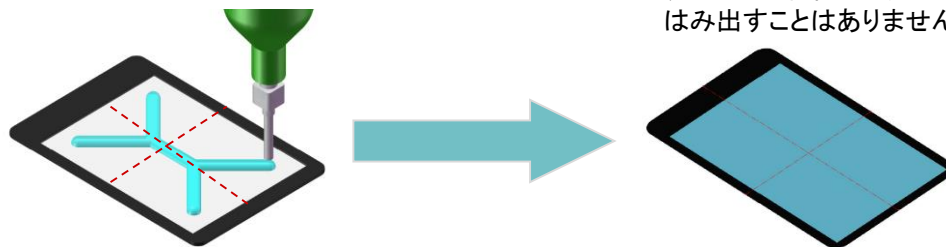
◇貼合せポジションを2～4箇所の間で変更可



生産量に応じた装置選択を実現

◇小型、低価格

◇DF (Dispense Flip) 工法



展延コントロールより塗布液は
決まられた位置まで広がり、
はみ出すことはありません。

新工法C2L(スリット工法)

LCM対応NRシリーズ

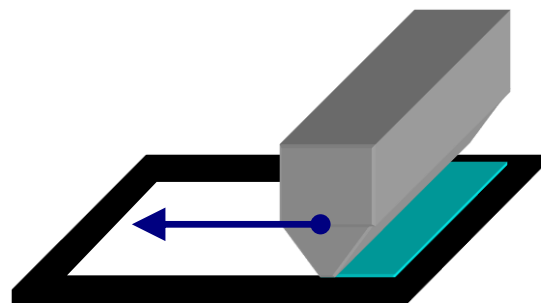
新工法装置を市場へ投入

C2L (Coating Cure Lamination)装置

- スリットコート方式による面塗布採用
- 面塗布及び仮硬化によるはみ出し・膜厚特性向上
- 狭額縁タイプ(高品位製品)の貼合せに効果発揮



スリットコート方式



大型基板や剛性が低い基板
(LCDモジュール等)に最適

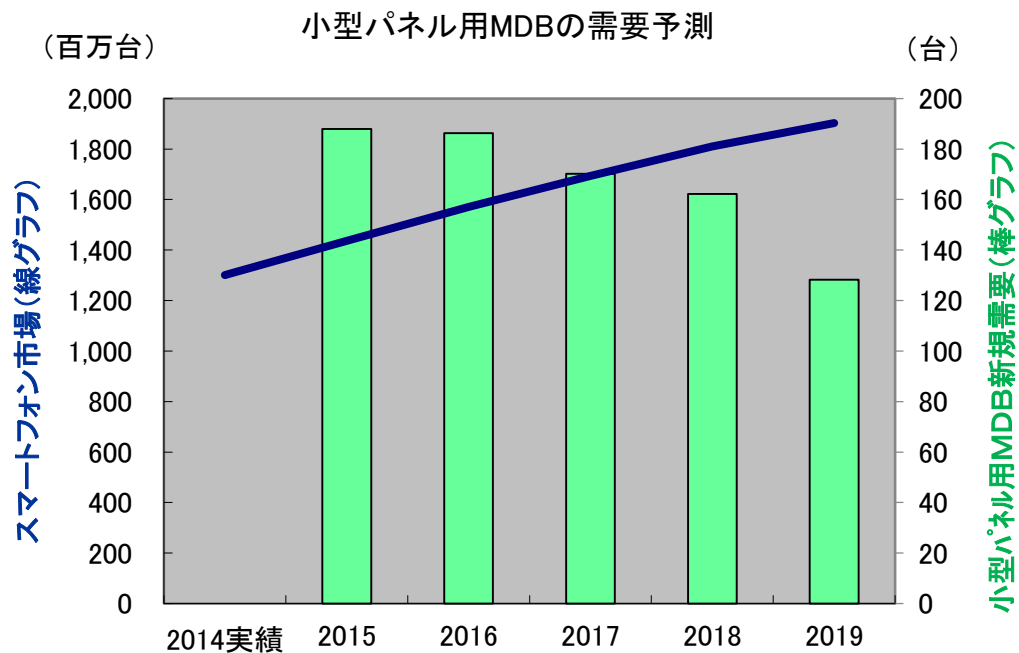


重点製品1-4

MDB



MDB市場



2015/8/25版

スマートフォンの世界市場予想データを基に、
小型パネル(2~5")用MDBの需要を予測



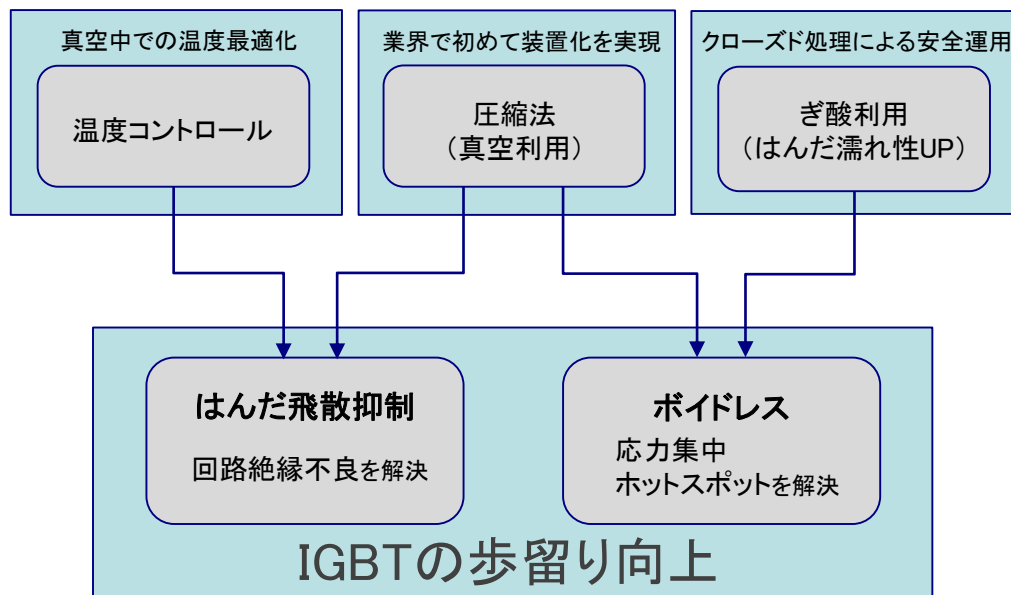
真空ソルダリングシステム(ぎ酸還元)

パワーデバイス用次世代半田付け装置

ぎ酸還元と真空利用によりボイドレスを実現（はんだ飛散も同時抑制）

還元力の高いぎ酸をクローズド処理で安全に運用

真空プロセスでのスムーズな温度コントロール



IGBT用途：・自動車(HV, EV) ・鉄道車両駆動 ・家電インバータ ・産業用MW用モータ

重点製品2-2

真空ソルダリングシステム(ぎ酸還元)



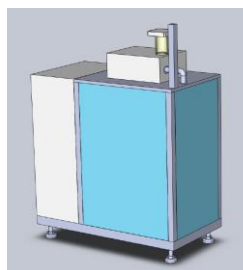
装置ラインナップ

エントリーモデル

Mini

Miniは研究用途向けの小型装置で、
ぎ酸還元を評価するために最適な一
台です。
また、オプションを追加すること
によって用途の幅が広がります。

装置寸法 W850×D450×H750



バッチタイプ

VS2

VS2 は研究用途から少量生産に適した
コンパクトバッチモジュールです。
ワークの出し入れに便利な自動搬送
機構を標準で装備しています。

装置寸法 W850×D850×H1460



2015年リリース予定

インラインタイプ

MP2

MP2 は加熱と冷却を独立させた2チャンバ仕様の
量産設備です。
処理スペースはW380 x D310 x H100mm と大型
ワーク搭載まで可能です。

装置寸法 W2,250×D1,750×H2,120
供給排出ユニットを除く本体部のみ



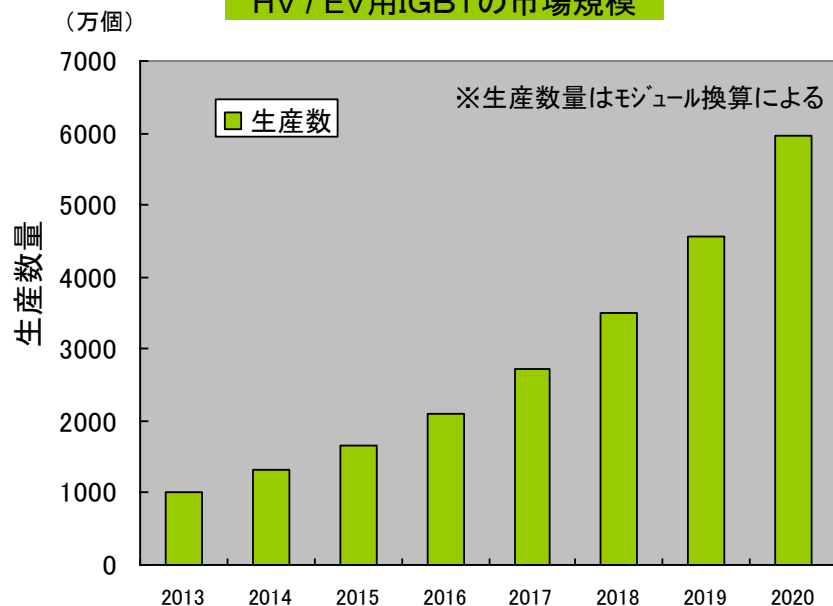
重点製品2-3

真空溶ダリングシステム(ぎ酸還元)



真空溶ダリングシステム市場

HV / EV用IGBTの市場規模

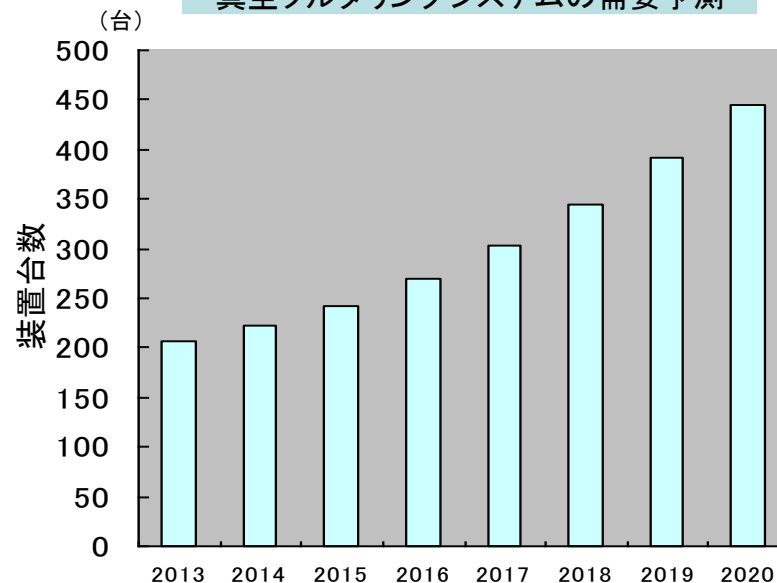


HV／EVの市場拡大とともに、IGBTの大幅な需要増が期待されます。

2014/7/22版

HV／EV用IGBTの世界市場予想データを基に、
真空溶ダリングシステムの今後の需要と潜在需要を予測

真空溶ダリングシステムの需要予測



20台～40台以上/年程度の新規導入の他に、既存機からの更新が見込まれます。(弊社大型量産機換算による)

パワーデバイス市場以外にも、LED、
光学部品、接合材料などの分野での
需要も期待されています。

コンデンサ式大型溶接機＋リングマッシュ工法

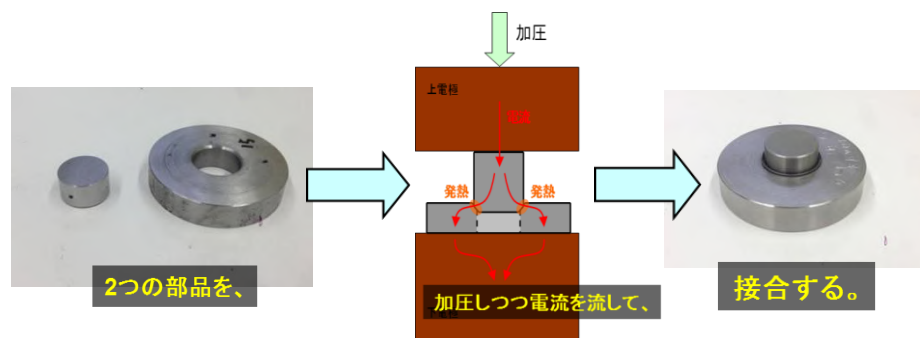
電子ビーム代替として複数の自動車関連メーカーで採用拡大

◇用途：自動車やオートバイなどの同軸駆動系部品の溶接

コンデンサ式大型溶接機



リングマッシュ



電子ビーム溶接と比較して、

- ・ 熱による歪みが少ない
- ・ 消耗品が少ない
- ・ 条件出しが簡単
- ・ ランニングコスト1/5以下

コンデンサのエネルギーを瞬時に放電し短時間大電流で溶接

国内自動車メーカーに採用され、既に多くの自動車やオートバイに搭載されています。

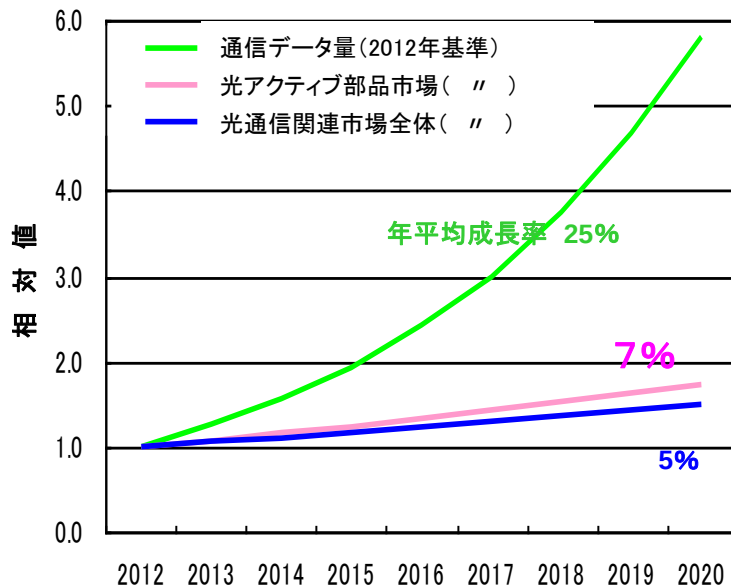
重点製品4

光半導体用小型溶接機(光通信関連)

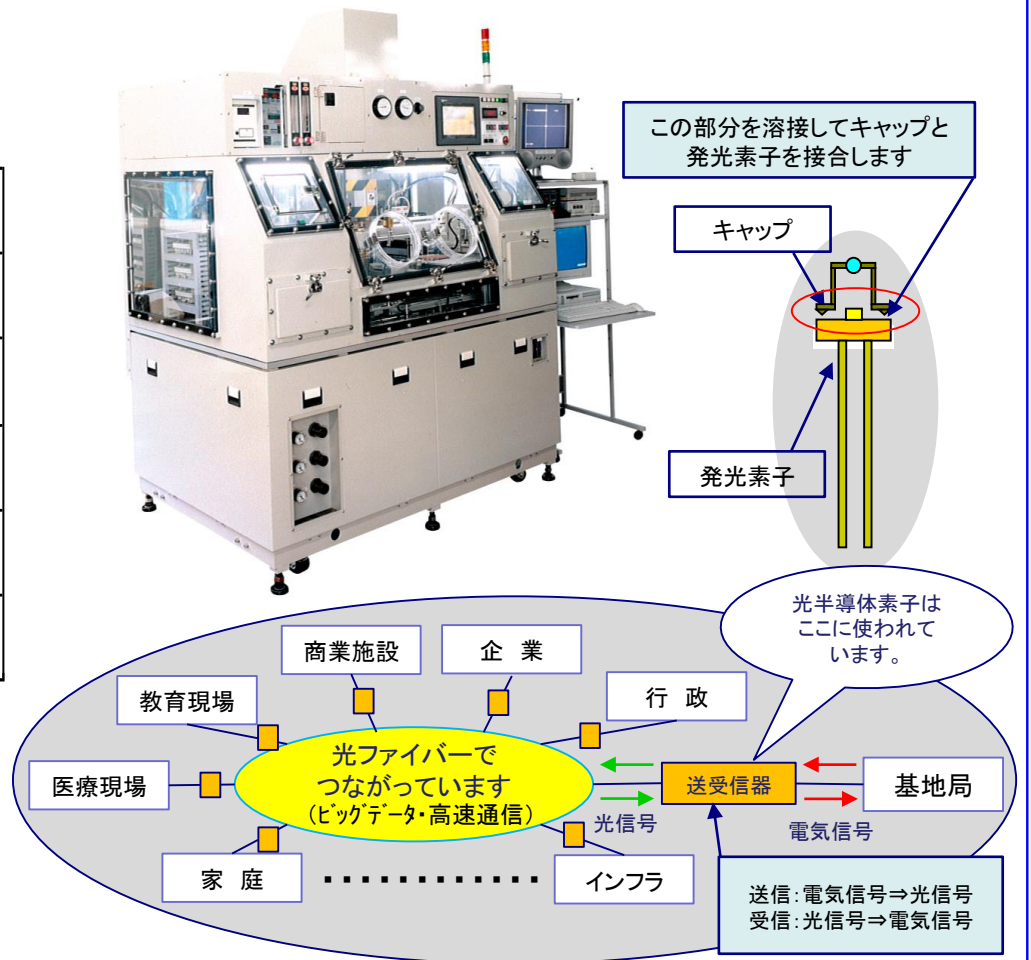


光通信関連市場向け

通信データ量と光通信市場の将来予測



- ・通信データ量: 米シスコシステムズによる予測
- ・光通信関連市場全体・光アクティブ部品市場:
「2013光通信関連市場総調査」富士キメラ総研



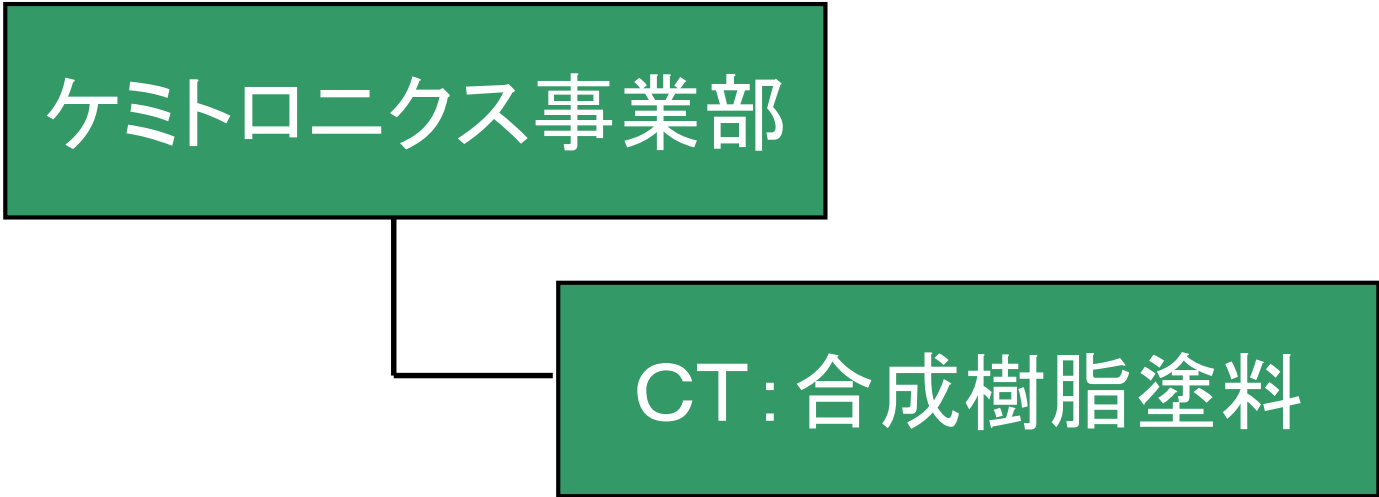
生産・販売拠点



ケミトロニクス事業部門

事業の内訳

ケミトロニクス事業部

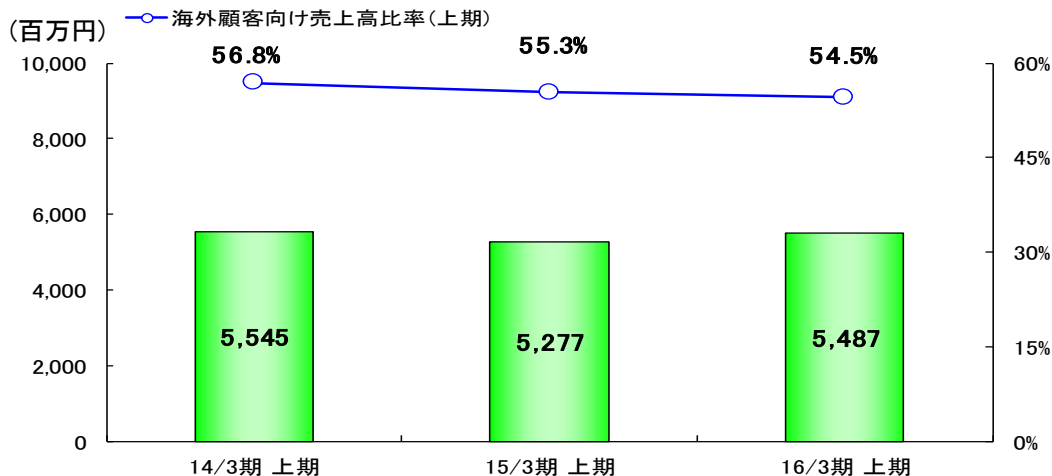


```
graph TD; A[ケミトロニクス事業部] --- B[CT: 合成樹脂塗料]
```

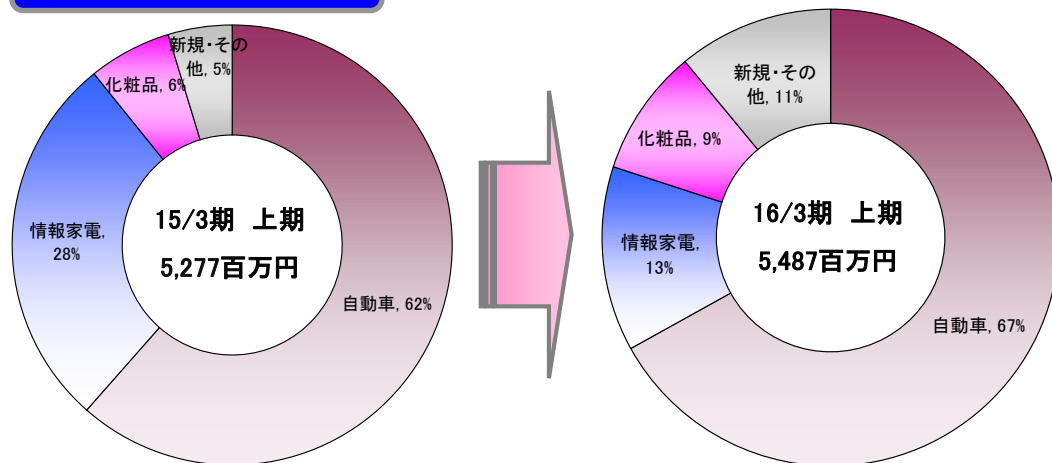
CT: 合成樹脂塗料

概況

連結売上高



市場別連結売上高比率



◆POINT◆

◇16/3期 上期概要

- ・主力の自動車関連分野においては、国内海外共に既存の維持に加え、新規獲得が売上に寄与し、全体としては前年同四半期より微増となりました。情報家電関連分野は、国内において携帯電話、ノートパソコン向け販売の低迷が続いています。
- ・その結果、売上高は前年同四半期比4.0%増の54億8千7百万円(総売上高の33.1%)となりました。

◇16/3期 下期重点施策

1. 新規分野製品の開発

- ・FPD・フィルム関連と自動車内装及び機能性塗料の開発。

2. 自動車分野の国内外の拡販強化

- ・国内軽自動車市場深耕と中国、ASEAN、米国の各拠点及びメキシコ新拠点化によるグローバル体制の強化。

3. 原価低減

- ・継続的価格競争力向上活動。
- (製品ライフサイクルに則した製品統廃合とグローバル調達)

新製品紹介

超高輝度塗料 ピカネット

※図は製品イメージです

○特長

従来の高輝度塗料と比較し、輝度が高い外観を実現。
意匠性の幅が広い。
耐候性に優れる。

○対応素材

ABS、PCなど。

○用途

自動車内外装、家電(タブレット)など。



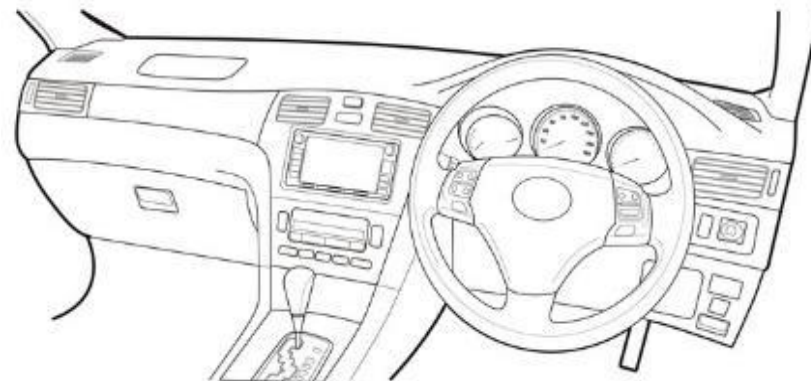
主要製品紹介

環境対応塗料

特 長：環境への対応、自動車VOC削減への対応
をしています。

使用例：・自動車内装部品
・携帯電話
・パソコン等

品 目：・水系塗料 “プラミーズ” シリーズ
・トルエンキシレンフリー塗料 “エコネット” シリーズ



プラスチック用塗料

特 長：作業性、意匠性などに優れ、高付加価値
を生む塗料です。

使用例：・自動車の内外装部品
・携帯電話
・パソコン
・デジタルカメラ
・化粧品容器
・スポーツ用品 等

めっき非鉄金属／蒸着部品用塗料

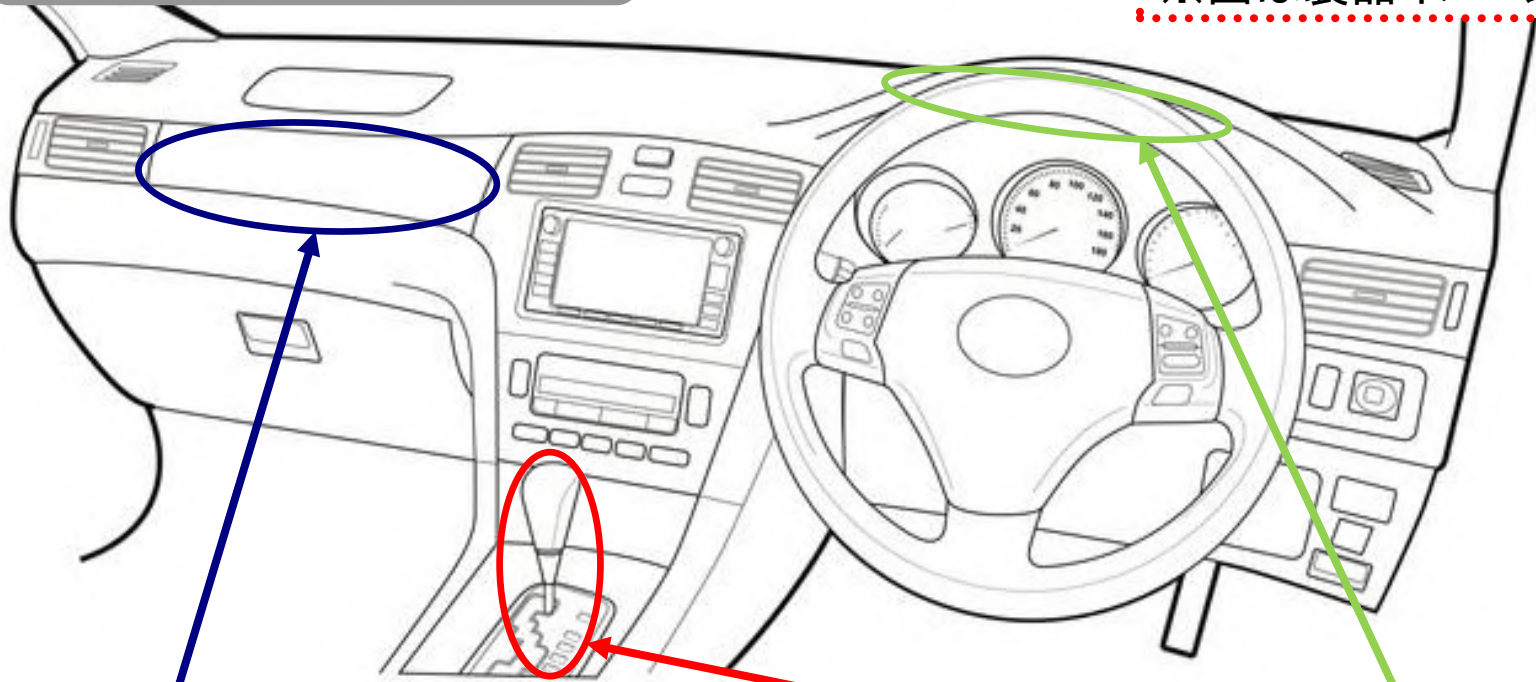
特 長：めっき素材、蒸着など
金属調意匠の外観加工に
優れた適応性を有します。

使用例：・自動車外装部品
・携帯電話
・デジタルカメラ
・パチンコ、パチスロ部品等

採用事例1

自動車採用事例
トヨタ レクサスLX

※図は製品イメージです



採用部品:オーナメント
採用塗料:エコネットEY+転写
+ET SS

採用部品:シフトパネル、シフトノブ
採用塗料:エコネットEY SS

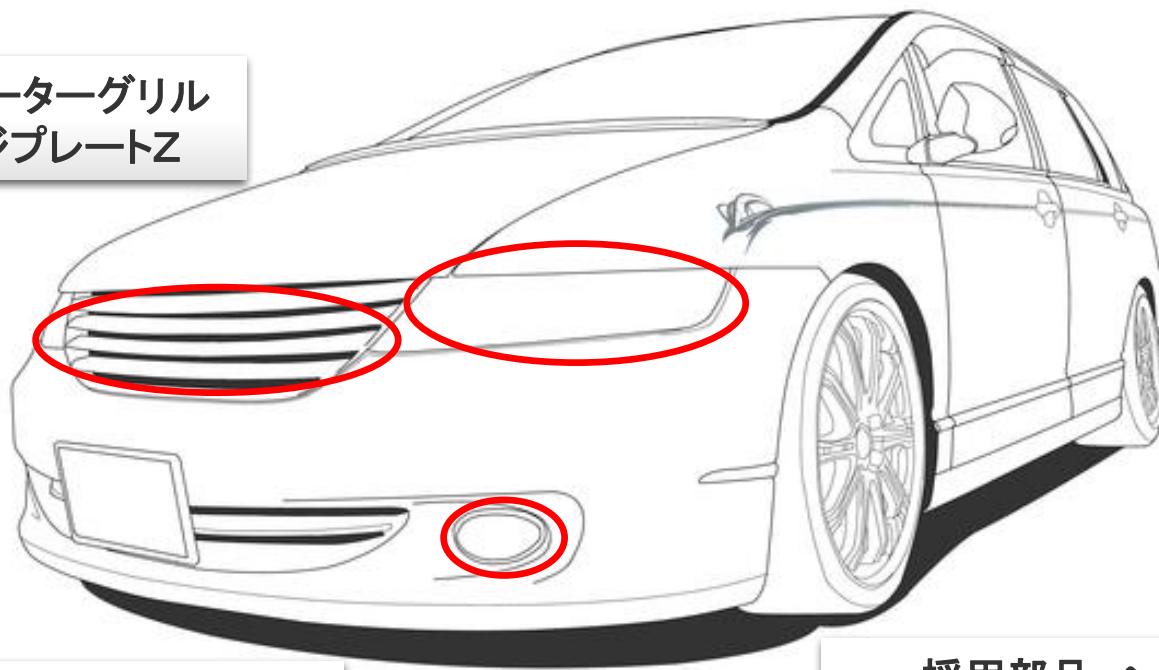
採用部品:ステアリング
採用塗料:エコネットPP-100
+EY+転写+ET SS

採用事例2

自動車採用事例
トヨタ ランドクルーザー

※図は製品イメージです

採用部品: ラジエーターグリル
採用塗料: オリジプレートZ



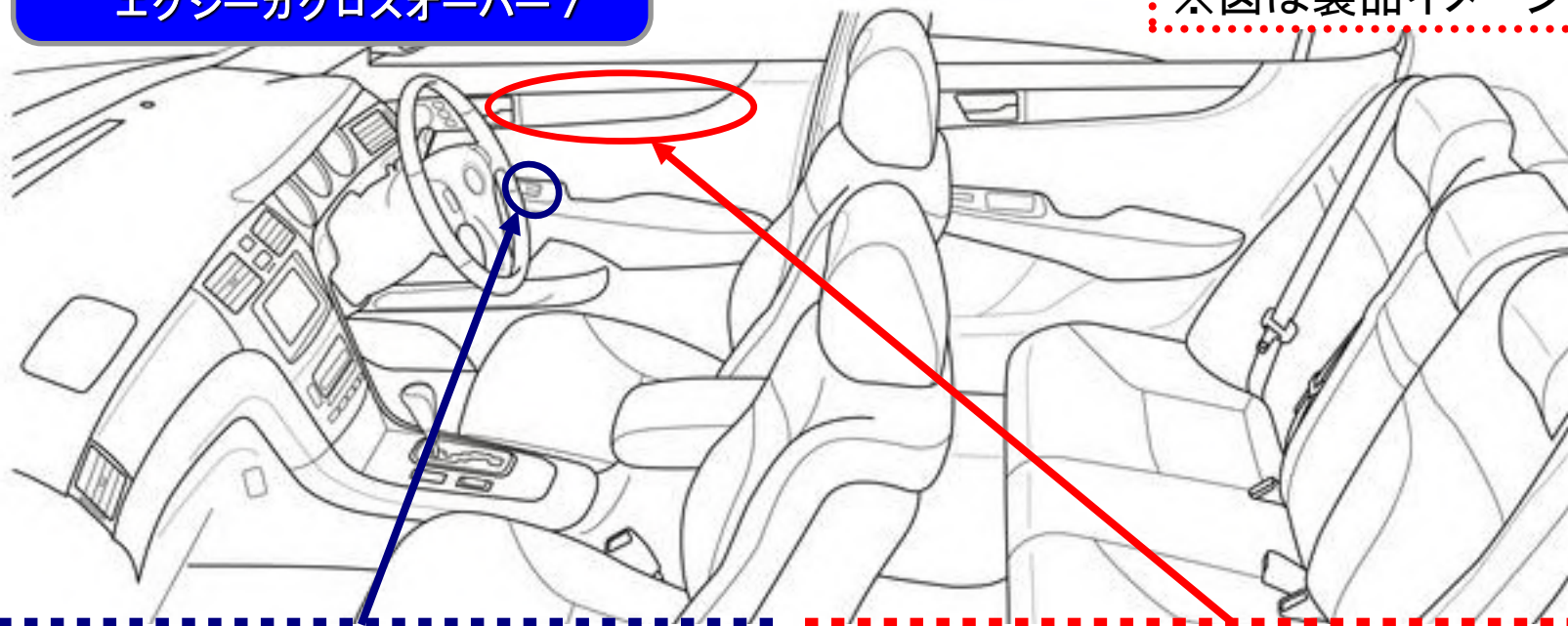
採用部品: フォグランプ
採用塗料: プラネットPK

採用部品: ヘッドランプ
採用塗料: オリジツーク#200EX

採用事例3

自動車採用事例
富士重工業
エクシーガクロスオーバー7

※図は製品イメージです



採用部品: スイッチフィニッシャー
採用塗料: エコネットNS-2

採用部品: ドアオーナメント
採用塗料: エコネットPP-100

採用事例4

家電・アミューズメント製品採用事例



H社 パチンコ台
採用塗料:プラネット#777



S社 液晶テレビ
採用塗料:プラネットSV-8

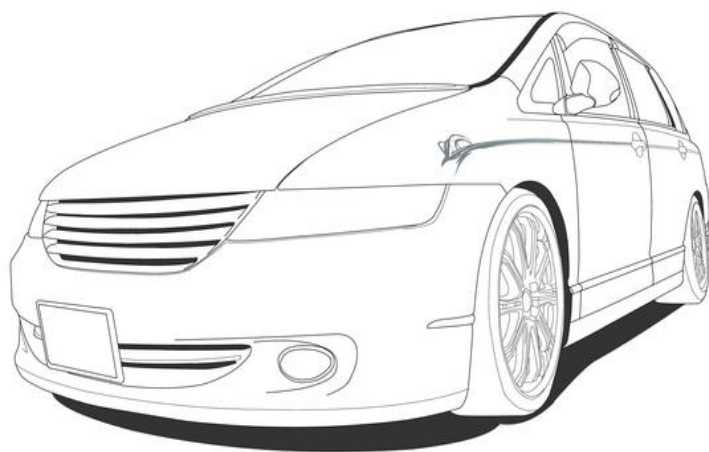


C社 デジタルカメラ
採用塗料:エコネットEY

※図は製品イメージです

採用事例5

東邦化研製品 採用事例



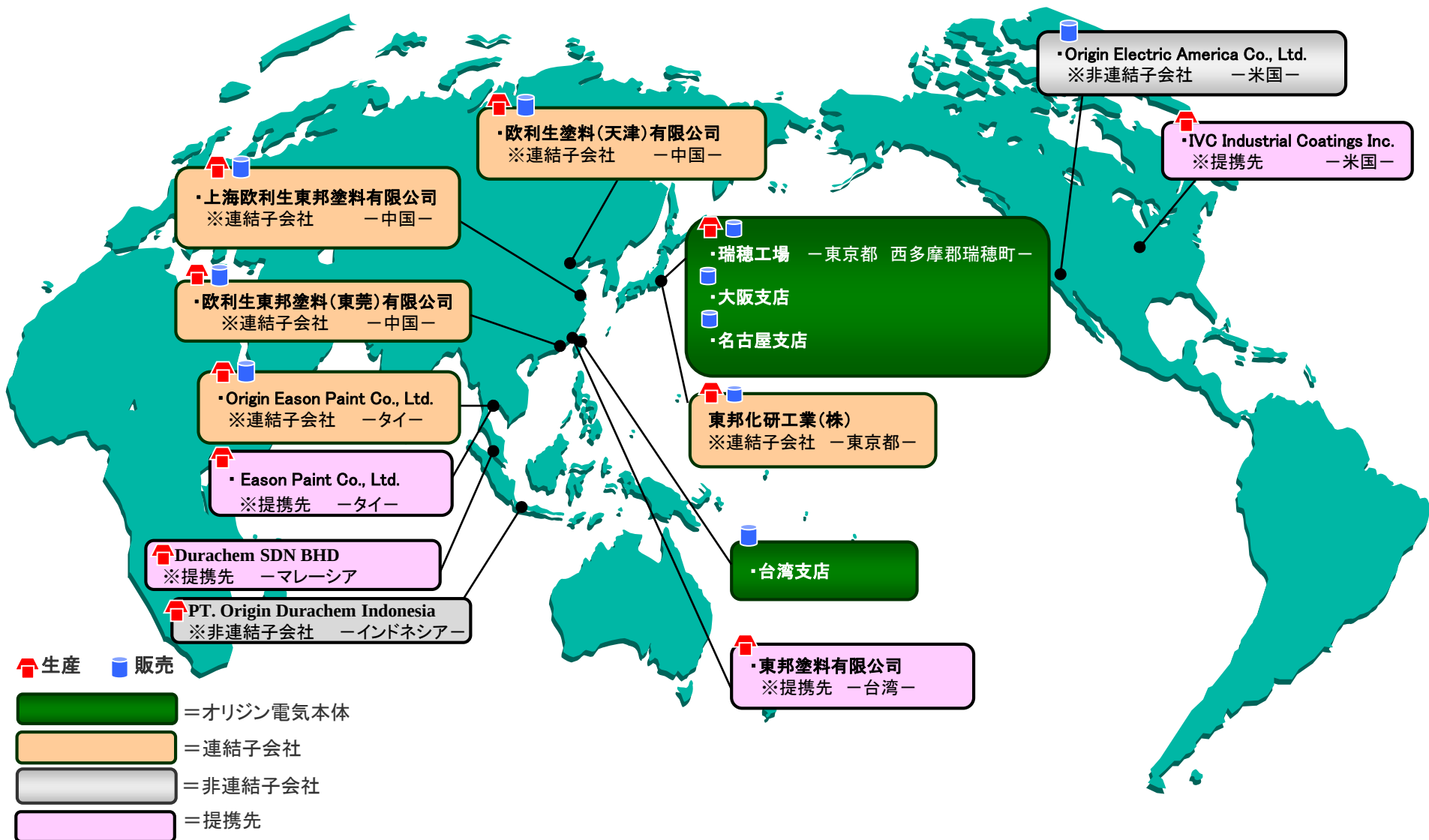
トヨタ シエンタ モデリスタ
採用部品:エアロパーツ
採用塗料:UR1271M - オリジプレートZ



S社 化粧品容器
採用塗料:UR1105 - T-203M

※図は製品イメージです

生産・販売拠点



MEMO

コンポーネント事業部門

事業の内訳

コンポーネント事業部

PD: 半導体デバイス

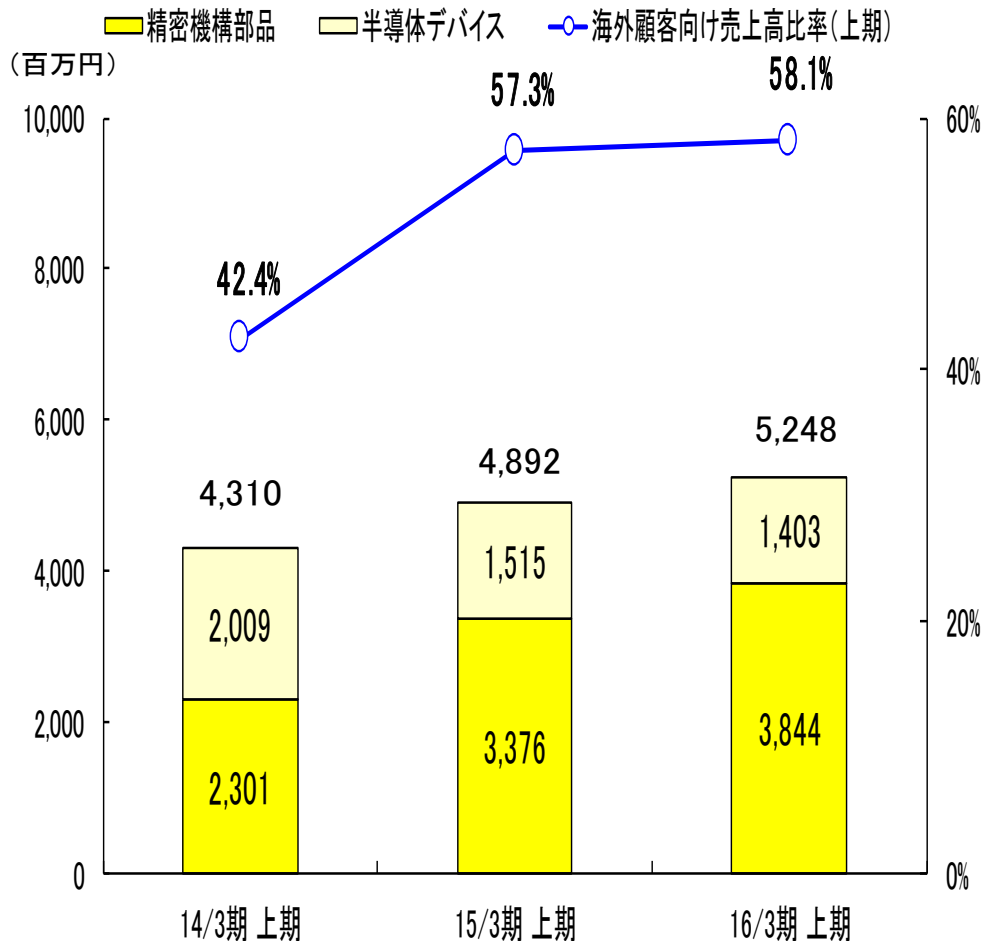
(PD: パワーデバイス部)

MT: 精密機構部品

(MT: モーションテクノ部)

コンポーネント事業概況

連結売上高



◆POINT◆

◇16/3期 上期概要

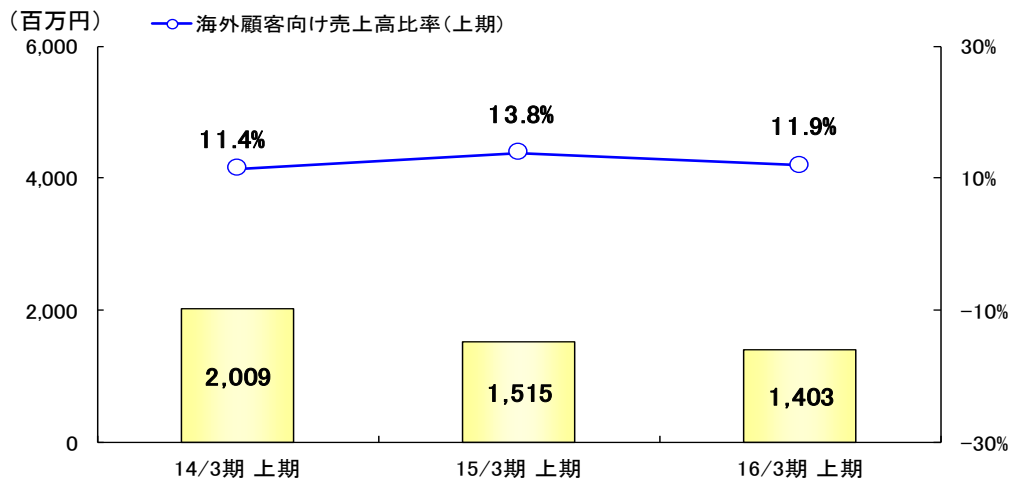
- ・事業としては計画達成であるが、個々の部門に於いては明暗を分けました。
- ・MT部は国内産業の伸張及び活況なる中国経済の恩恵もあり順調に業績を伸ばしました。
- ・PD部は、医療、遊戯関係での停滞感があり若干の計画未達に終わりました。
- ・その結果、売上高は前年同四半期比7.3%増の52億4千8百万円(総売上高の31.7%)となりました。

◇16/3期 下期重点施策

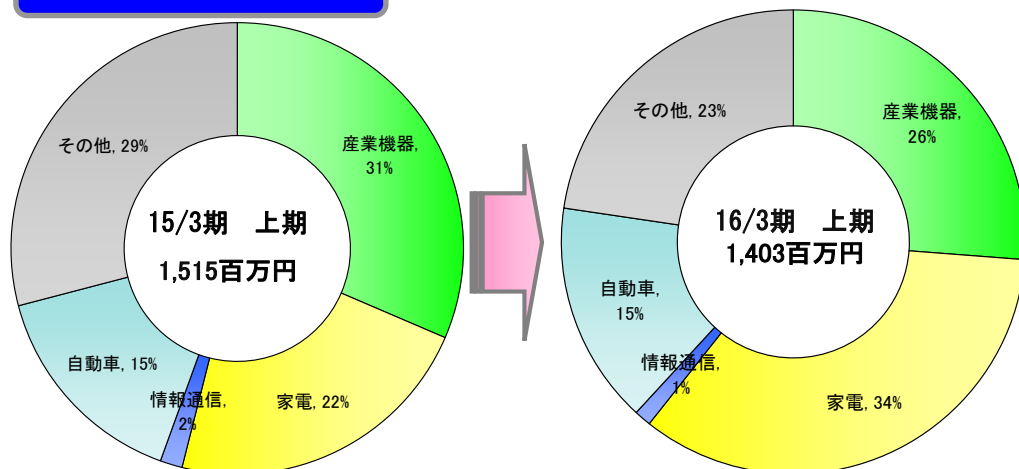
- ・市況の変動が激しい中、情報収集による業績への影響と対応策遂行により計画達成を見込んでおります。

PD:半導体デバイス概況

連結売上高



市場別連結売上高比率



◆POINT◆

◇16/3期 上期概要

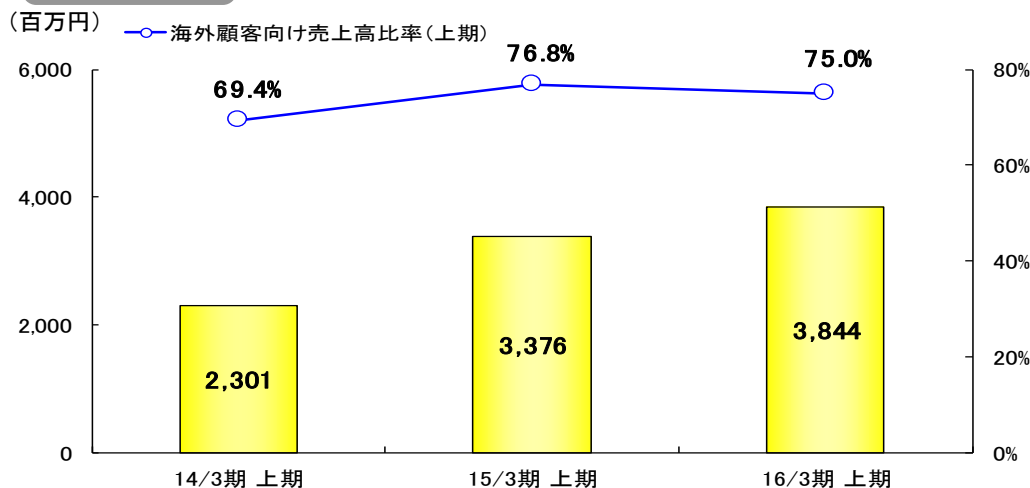
- ・半導体デバイスは、環境対応車関連向けパワーデバイスや太陽光発電関連向けモジュールは堅調に推移しましたが、医療機器・遊技機・デジタルスチルカメラは販売が低迷しました。
- ・その結果、売上高は前年同四半期比7.4%減の14億3百万円(総売上高の8.5%)となりました。

◇16/3期 下期重点施策

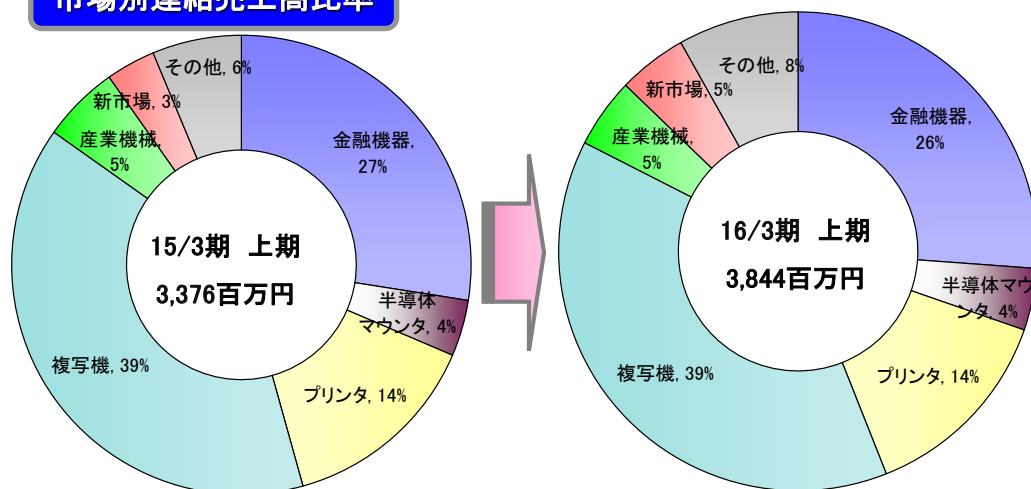
- ・産業機器市場へのパワーモジュール拡販
- ・高耐圧ダイオードの海外医療機器市場への拡販
- ・ソーラー及び産業機器市場に対するカスタム製品提案
- ・ウェア販売、サージクランプのOEM供給の強化を推進して参ります。

MT: 精密機構部品概況

連結売上高



市場別連結売上高比率



POINT

◇16/3期 上期概要

・精密機構部品は、複写機・プリンタ関連とATMなどの金融機器関連向け製品が需要増加により好調に推移したことに加え円安効果もあり、売上高は前年同四半期比13.8%増の38億4千4百万円(総売上高の23.2%)となりました。

◇16/3期 下期重点施策

- 既存製品の売上拡大
 - ①米国市場拡大(新規、既存顧客拡大)
 - ②新市場開拓(新規拡販分野の検討)
 - ③高付加価値特殊ベアリング
 - ④複写機・金融市場の維持拡大
- 新製品拡販(OTLP・RT・小型OSC)
- 次期新製品(超高負荷領域機構部品)の開発

PD:戦略製品1-1

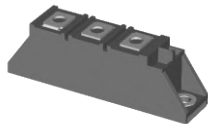
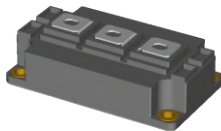
高電圧大電流高周波整流用パワーモジュール

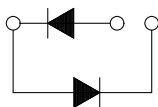
◇特長

- ・高耐圧=1700V
- ・高速スイッチング $t_{rr} \leq 250\text{ns}$
- ・平均整流電流100A～
- ・絶縁型 取り付け容易

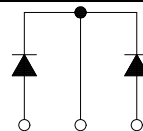
◇用途

- ・各種電源装置
- ・大容量インバーター
- ・EV急速充電器 整流用

形状			
	TAタイプ	TBタイプ	TCタイプ
せん頭逆電圧 (VRM)	600～1700V	600～1700V	600～1700V
平均整流電流 (Io) (1アーム)	100A	～200A	～400A
内 部 結 線	ダブル カソードコモン	ダブル カソードコモン	シングル



ダブル結線



カソードコモン結線



シングル結線

PD:戦略製品1-2

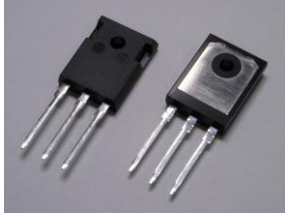
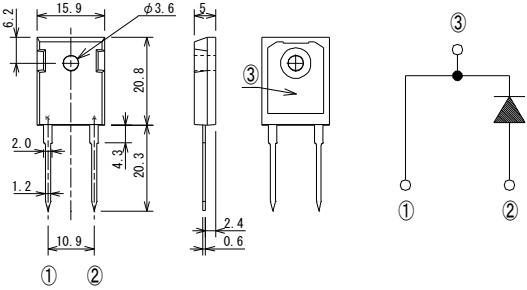
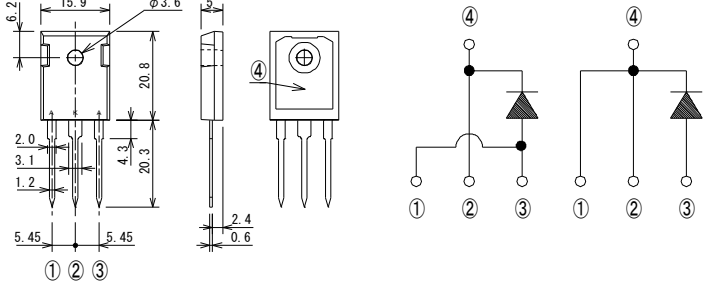
高電圧高周波整流ダイオード

◇特長

- ・高耐圧=1700V
- ・高速スイッチング $t_{rr} \leq 150\text{ns}$
- ・平均整流電流30A～
- ・取り付け容易

◇用途

- ・各種電源装置
- ・大容量インバーター
- ・EV急速充電器 スナバー用

形状		
せん頭逆電圧 (VRM)	600～1700V	600～1200V
平均整流電流 (Io)	～60A	～60A
外形・内部結線		

PD:主要製品紹介

モジュール製品

特 長：超高压対応の製品から
サージ吸収スナバーモジュール、
回路技術と組み合わせたカスタムモジュール
など多様な複合製品を提供します。

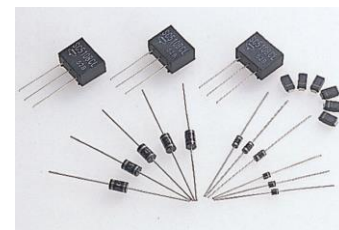
用途：大電力装置用、高電圧発生用
使用例：自動車、家庭用ソーラ、
医療用レントゲン、
電子顕微鏡



アキシャルリード部品

特 長：高電圧・高効率のサージ対策製品を
シリーズ化しています。

用途：電気製品の雷、静電気対策
使用例：エアコン、パチンコ



表面実装部品

特 長：高電圧・大電流製品を超小型で実現しています。

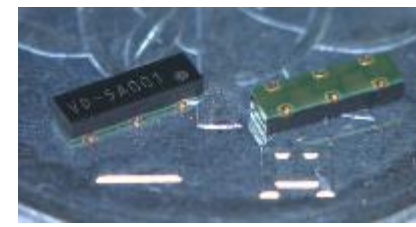
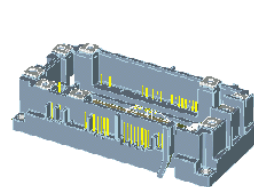
用途：電気製品の雷、静電気対策
使用例：デジタルカメラ、ゲーム機器



カスタム製品

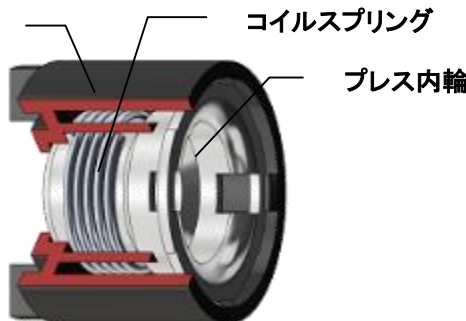
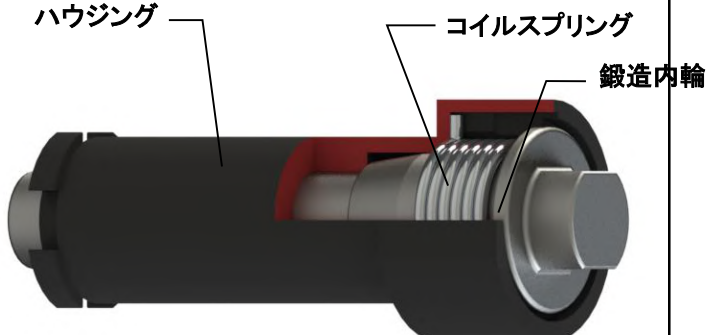
特 長：お客様のニーズに合わせた製品を実現します。

用途：ソーラー、超小型高圧電源
使用例：パワーコンディショナー、その他



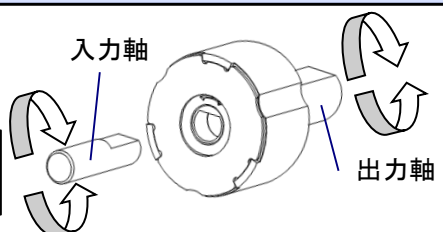
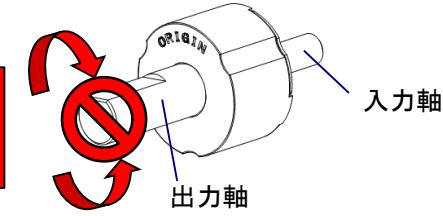
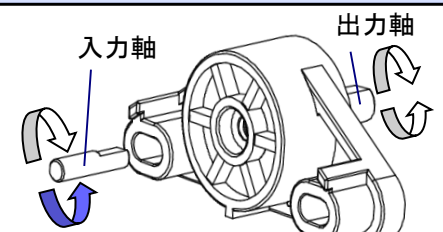
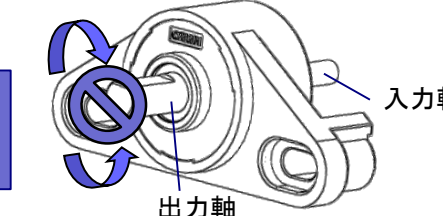
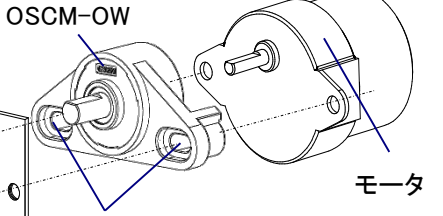
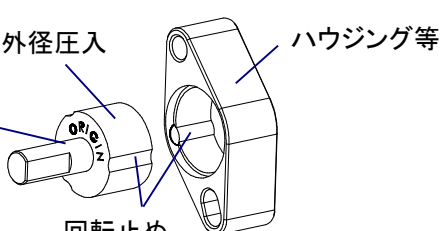
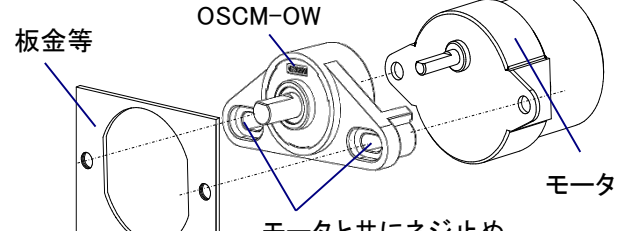
MT: 戦略製品1 トルクリミッタOTL-P型・RT型

中国現地生産化(部品の現地調達化・アッセンブリ)

型式名	OTL-P型 (新商品)	RT型 (新商品)
外観・構成		
部品調達	全部品 中国現地調達	全部品 中国現地調達
サイズ	外径 $\Phi 14.0\text{mm}$	外径最小 $\phi 12.3\text{mm}$ ゴム圧入部外径 最小 $\phi 8.5\text{mm}$
負荷トルク設定	最大 $50.0\text{ mN}\cdot\text{m}$	最大 $39.2\text{ mN}\cdot\text{m}$
耐久性	300万回転以上	100万回転以上

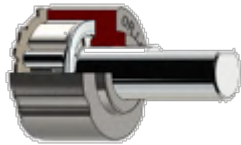
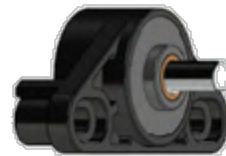
MT: 戦略製品2-1 小型OSC-L (OSCM型)

小型双方向クラッチ(OSCM型)のバリエーション

型式名	OSCM-TW型 (逆入力遮断クラッチ)	OSCM-OW型 (昇降クラッチ)
機能	両方向動力伝達  両方向完全ロック動力遮断 	一方向動力伝達  一方向設定トルクで動力伝達  両方向設定トルクまで動力遮断 
取り付け例	外径圧入 ハウジング等 OSC-M-TW 回転止め 	板金等 OSC-M-OW モータ モータと共にネジ止め 

MT: 戦略製品2-2 小型OSC-L (OSCM型)

小型双方向クラッチ(OSCM型)の用途

型式名	OSCM-TW型 (逆入力遮断クラッチ)	OSCM-OW型 (昇降クラッチ)
モデル		
対象市場	遊戯機器市場 (複写機、他)	遊戯機器市場 (複写機、他)
用途	複写機内部のローラ回転体の惰性回転止め	複写機上部給紙部のピックアップローラ部の保持
適用例		

MT: 主要製品紹介

ワンウェイクラッチ (OWC)

特 長：
一方向は空転し、
その反対方向はかみ合う機能を持った製品です。
主にワンウェイクラッチと歯車・ローラなど
を一体化した製品として用いられます。

使用例：・金融機器（ＡＴＭ等）
・ＯＡ関連機器
・自動発券機
・半導体実装装置



トルクリミッタ (OTL)

特 長：
設定トルクを境に回転トルクを伝達したり、
スリップをして遮断する機能製品です。

使用例：・金融機器（ＡＴＭ等）
・ＯＡ関連機器
・自動発券機
・各種安全機構



ワンウェイヒンジ (OWH)

特 長：
ワンウェイクラッチとトルクリミッタの機能を
兼ねそろえたヒンジです。
従来のヒンジでは開ける時と閉める時で発生トルク
は同等ですが、この製品は一方向にフタ等を保持
するための負荷トルクを有し、他方向ではトルクを
発生せず空転状態となります。

使用例：・ＯＡ関連機器
・各種機器のフタ
・ユニットの開閉機構



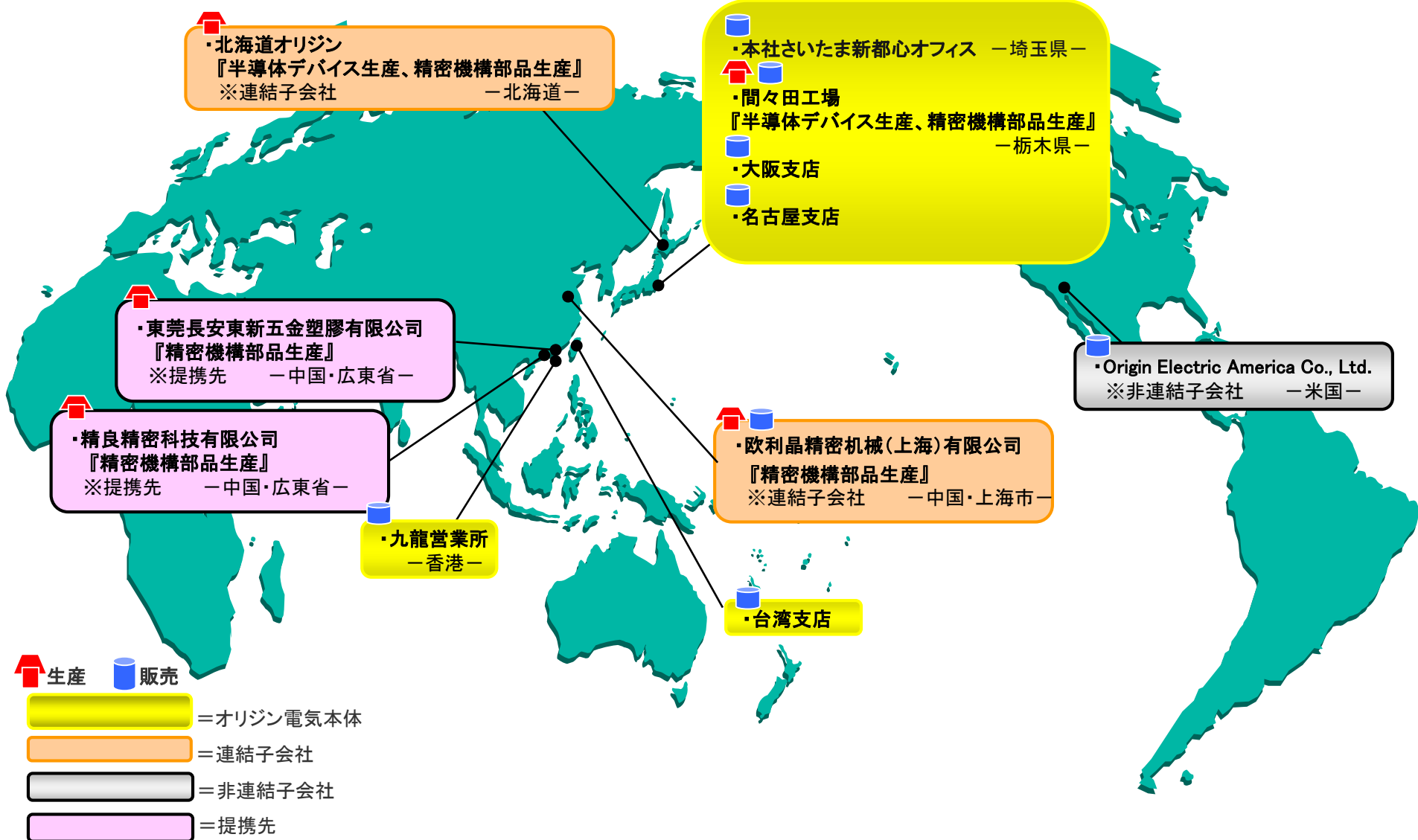
ベアリング

特 長：
ミニチュアボール軸受とプーリ・ギアや軸等の
精密加工部品を複合的に組立てたユニット製品です。
数々のベアリング製造より得られたノウハウを活かし、
高精度かつ高品質な対応をしています。

使用例：・金融機器（ＡＴＭ等）
・工作機械
・自動発券機
・半導体実装装置
・医療機器



生産・販売拠点



◇当資料はオリジン電気株式会社が作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。
複写及び無断転載はご遠慮下さい。

◇当資料に掲載しております情報は、2016年3月期第2四半期決算の経営成績や財務内容等の提供を目的として
ありますが、内容についていかなる保証を行うものではありません。

◇業績予想等は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しています
ので、実際の業績はこれらの予想数値とは異なる場合があります。

◇当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したも
のではありません。

————— プレス・アナリスト・機関投資家様 個別取材窓口 —————

オリジン電気株式会社

経営企画部

TEL:048-755-9422